

科目名 (英)	英会話 English Conversation	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	海老原 孝一
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 月曜 3限
学科・コース	保育士科(昼間主・夜間主コース)						
【実務経験】 公立の小中学校で教育職員をした後、海外の日本人学校や幼稚園で18年間教育・運営に携わり、帰国後、2017年から東京福祉専門学校で保育科の学生を指導、2021年からは埼玉福祉保育医療専門学校の保育科並びに言語聴覚士科でも英語や文章表現等の授業を担当している。							
【授業の学習内容】 日常で使う英語表現を学びながら、保育士・幼稚園教諭が現場で必要とする英語・英会話に特化した学習を行う。具体的には、幼児教育で使われる英単語、英語の歌、英語のゲーム、おたよりの翻訳、保育現場で想定される英会話、英語の読み聞かせ・紙芝居、英語を用いた製作活動、英語劇などである。また校外に出て、動物園や水族館の引率や説明を英語で行ったりもする。							
【到達目標】 ・外国語学習を通して、異言語や異文化への抵抗意識が少なくなる。 ・日常会話および児童福祉分野に関する基礎的な英会話力を習得する。 ・外国語学習や活動を通して、異なったものを認め、それを受け入れる態度を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】 必要資料は授業時に教員が配付する。				【授業外における学習】 予習や復習、資料準備などを事前に連絡する。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 英語で簡単な自己紹介やゲーム、歌を楽しむことができる。保育園・幼稚園・児童施設における英語教育・活動の現状を知る。 【授業内容】 英語で自己紹介、ゲーム、歌に取り組む。			9	【到達目標】 前時に作った台本をもとに、役割を決め、劇の練習をすることができる。 【授業内容】 台本を工夫して作り、役割を決めて、練習をする。		
2	【到達目標】 英語で子ども向け、成人向けの歌やゲームを考えて、楽しい活動をするための準備ができる。 【授業内容】 英語のゲーム、歌等の準備をする。			10	【到達目標】 完成した劇を動画で撮影することができる。 【授業内容】 劇を動画で撮影する。		
3	【到達目標】 準備した英語のゲームや活動をみんなで楽しむことができる。 【授業内容】 英語のゲーム・活動を行う。担当したゲーム等を進行したり、参加したりする。			11	【到達目標】 英語と日本語でピクチャーカードを作り、使うことができる。 【授業内容】 ピクチャーカードの制作と練習。		
4	【到達目標】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で親しみ、読み聞かせをしたり、歌を歌うことができる。 【授業内容】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で読む。場面絵を制作したり、英語と日本語で読み聞かせを練習し、実際にやってみる。			12	【到達目標】 英語と日本語でピクチャーカードを作り、使うことができる。 【授業内容】 ピクチャーカードの制作と練習。		
5	【到達目標】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で親しみ、読み聞かせをしたり、歌を歌うことができる。 【授業内容】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で読む。場面絵を制作したり、英語と日本語で読み聞かせを練習し、実際にやってみる。			13	【到達目標】 地域や観光地、日本文化を紹介する英語のパンフレットを制作し、作ったパンフレットをもとに発表することができる。 【授業内容】 パンフレット作り。		
6	【到達目標】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で親しみ、読み聞かせをしたり、歌を歌うことができる。 【授業内容】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で読む。場面絵を制作したり、英語と日本語で読み聞かせを練習し、実際にやってみる。			14	【到達目標】 地域や観光地、日本文化を紹介する英語のパンフレットを制作し、作ったパンフレットをもとに発表することができる。 【授業内容】 パンフレット作りと発表の練習。		
7	【到達目標】 こども向け昔話を英語で楽しむことができる。 【授業内容】 英語で書かれた昔話を读んだり、理解する。			15	【到達目標】 地域や観光地、日本文化を紹介する英語のパンフレットを制作し、作ったパンフレットをもとに発表することができる。 【授業内容】 発表会を実施し、できたパンフレットと発表の内容を定期試験とする。		
8	【到達目標】 レストランで使う基本的な英会話を知り、工夫して台本を作ることができる。 【授業内容】 レストラン英会話の台本作りをする。 【中間テスト 出題は昔話から】			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 受講者の状況に合わせて、内容や学習の順番を変更する場合があります。							

科目名 (英)	保育の計画と評価 Planning and evaluation for nursery care	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	林 亜貴
学科・コース	保育士科(昼間主コース)	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 月曜 3限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 幼稚園教諭としてクラス担任としての経験を有する。子どもの主体性を尊重した保育、同僚と協同して作り上げる保育を実践してきた。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目は、保育における計画や評価について学ぶ科目である。実際に計画・実践・評価をするなかで、様々な視点で保育を計画することの重要性や子ども理解を深める重要性について学ぶ。現場経験を活かし、実際の保育現場においてどのように保育の計画・評価が行われているのかエピソードを踏まえながら伝え、保育や保育現場のイメージが持てるよう授業を進める。							
【到達目標】 ・保育内容の充実と質の向上に資する保育の計画及び評価について理解する。 ・全体的な計画と指導計画の作成について、その意義と方法を理解する。 ・子どもの理解に基づく計画、実践、省察・評価、改善の過程についてその全体構造を捉え、理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「保育所保育指針ハンドブック2017年告示板イラストたっぷりやさしく読み解く」 ・「新訂知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等 実習ガイド」				【授業外における学習】 授業内容に応じて、予め教科書を読み、授業後もノートや配付プリントを振り返り復習をし、学んだことを身につける。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 授業の内容や持ち物、評価について理解することができる。 保育における計画の意義を理解し、関心を持って学修に取り組む。 【授業内容】 授業オリエンテーション、保育計画の意義と必要性			9	【到達目標】 指導計画の作成について理解し、ポイントをまとめることができている。 【授業内容】 指導計画の作成について		
2	【到達目標】 保育における計画の種類、関係性を理解することができる。 保育計画の前提となる指針・要領について確認をする。 【授業内容】 保育計画の種類と指針・要領			10	【到達目標】 絵本の読み聞かせを保育に取り入れる意味を理解し、実践時の留意点の確認をする。指導計画作成を視野に入れた絵本選びができる。 【授業内容】 絵本の読み聞かせについて 指導計画の作成		
3	【到達目標】 子どもの姿から子どもの心情等を読み取り、自分の考えを共有することができる。 【授業内容】 子ども理解			11	【到達目標】 絵本の教材研究を行い理解を深めた上で、指導計画を作成することができる。 【授業内容】 教材研究に基づいた指導計画作成		
4	【到達目標】 保育における環境の重要性を理解し、保育者の意図を踏まえた保育計画の作成を意識することができる。 【授業内容】 保育環境と保育者の意図			12	【到達目標】 指導計画に基づき実践し、実践から保育や指導計画を振り返ることができる。 【授業内容】 指導計画を元にした保育実践と評価		
5	【到達目標】 保育者の関わりや行動から意図を考えることができる。 【授業内容】 保育者の関わりや行動と意図			13	【到達目標】 自身の実習先の調べ学習を行い、実際の実習で行う保育の指導計画を考えることができる。 【授業内容】 実習での指導計画について		
6	【到達目標】 記録の意義と基本的な考え方について理解することができる。 日誌を書くときのポイントや書き方を学び、記録することができる。 【授業内容】 記録の意義と作成			14	【到達目標】 指導計画作成に必要な知識を理解している。また、保育の留意点や保育者の援助を踏まえ、保育を計画・評価することが考えられている。 【授業内容】 定期試験		
7	【到達目標】 保育所における一日の流れ・時系列での記録の取り方を理解し、保育者の援助について考え記述することができる。 【授業内容】 保育の一日の流れ・時系列の作成			15	【到達目標】 授業内容を振り返り、学びを深めることができる。 【授業内容】 授業・定期試験の振り返り		
8	【到達目標】 保育における評価の意味を知り、多様な評価方法を理解することができる。 【授業内容】 保育における評価・中間試験			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	図工 Arts and crafts education	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	川口 麗
学科・コース	保育士科	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 月曜 1・2限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 美術科修士課程修了。美大予備校、カルチャー教室、自宅アトリエ、幼稚園アート教室にて、大人や子どもの創作活動に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目は、子どもの表現力や創造力を育むための基礎知識を学ぶ制作演習である。 美術教育の立場から、現状や観点を伝える。							
【到達目標】 ・発達段階に応じた絵画造形の基礎を学び、創作活動を適切に指導する技術を身に付ける。 ・材料や画材の知識を深め、表現に適した選択ができる。 ・表現の楽しさを学び、伝えることができる。他者の表現に寄り添うことができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 教員の指示に従い準備をすること(スケッチブック、画材など)				【授業外における学習】 想像力を広げたい。日常の中で興味深く観察する視点を持ち制作に活かす。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 授業の進行方法、評価基準を理解する。 子供の表現と保育士の関わりを把握する。 【授業内容】 講義、演習「自己紹介カード記入」			9	【到達目標】 偶然性の美と技法について知る。 【授業内容】 演習「技法研究②デカルコマニー・ドリップング・糸引き」		
2	【到達目標】 色の特徴を知る。 【授業内容】 演習「色の三原色」			10	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習「技法研究③スクラッチ」		
3	【到達目標】 効果的な色の配置を知る。 【授業内容】 演習「補色・同系色」			11	【到達目標】 質の違いから生まれる美への意識を深め、技法を知る。 【授業内容】 演習「技法研究④パチック・フロッターージュ」		
4	【到達目標】 色の効果・性質・種類を知る。 【授業内容】 演習「暖色・寒色・その他の色」			12	【到達目標】 イメージを様々なパーツと組み合わせ、一つの世界を表現する。 【授業内容】 演習「技法研究⑤コラージュ」		
5	【到達目標】 描画表現の基礎を知る。 【授業内容】 演習「静物デッサン」			13	【到達目標】 美しく見やすい文字のデザイン性について、演習を通して知る。 【授業内容】 演習「技法研究⑥レタリング」		
6	【到達目標】 人体における描画表現の基礎を知る。 【授業内容】 演習「人体デッサン」			14	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習「技法研究⑦スチレン版画」		
7	【到達目標】 描画表現に必要な要素、伝え方を知る。 【授業内容】 演習「情景描写」			15	【到達目標】 配色の効果と画面構成について知る。 【授業内容】 演習「版画印刷」		
8	【到達目標】 偶然性の美と意図的な線を組み合わせ表現する。 【授業内容】 演習「技法研究①スタンピング・バブルアート・マスキング」			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 他者の表現に興味を持ち観察してみよう。							

科目名 (英)	音楽 Music	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	浅子 元 柿沼 秀子
学科・コース	保育士科	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 月曜 1/2限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 保育士養成校にて20年のピアノ・音楽指導を行う。また保育園にてリトミック指導を12年行う。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 長年の音楽(ピアノ)教育の経験から、ピアノ・歌唱のほか、リトミック、打楽器演奏、オペレッタを2002年から専門学校にて指導している。 本科目は、音楽的基礎力(楽典)に注力し保育者として必要とされる音楽技術を学ぶ。基本、毎回の授業でピアノの練習とレッスンをを行う。バイエルピアノ教則本の50番までを仕上げる。							
【到達目標】 ・保育者、教育者として必要な基礎的な音楽の技術と理論を習得する。 ・「ピアノを使って楽しく音楽が指導できる人を養成する」を授業の目標とする。 ・バイエルピアノ教則本50番まで。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「こどものうた200」チャイルド社 ・「標準バイエルピアノ教則本」全音楽譜出版社				【授業外における学習】 必要な事項は次回の授業までに充分習得しておくことを求めます。ピアノは毎日少しでも練習を積むことが必要です。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 オリエンテーションを行い年間の到達目標を理解する。 【授業内容】 年間到達目標を理解する。ト音記号・ヘ音記号の読み方に慣れる。音楽課題曲リストの使用法を理解する。			9	【到達目標】 コード・ネームによる伴奏付けが出来る。生活の歌「おかたづけ」の習得。 【授業内容】 コード・ネーム(C, F, G)が理解でき伴奏付けが出来るようになる。生活の歌「おかたづけ」の練習。「あめふりくまのこ」。		
2	【到達目標】 季節の歌の歌唱、楽典の重要性について。 【授業内容】 「めだかのがっこう」が歌える。コード・ネームの基本を学習する。「こいのぼり」。			10	【到達目標】 コード・ネームによる伴奏付けが出来る(応用編)。生活の歌「おかたづけ」の習得。 【授業内容】 コード・ネーム(C, F, G)が理解でき伴奏付けが出来るようになる。「あめふりくまのこ」、「たなばたさま」。		
3	【到達目標】 ピアノ曲の習得、コード・ネームの基礎。 【授業内容】 ピアノ曲を1曲弾くことが出来る。コード・ネームの基本を学習する。「おかあさん」。			11	【到達目標】 コード・ネームによる伴奏付けが出来る(応用編)。生活の歌「おべんとう」の習得。 【授業内容】 コード・ネーム(C, F, G, D, A)が理解でき伴奏付けが出来るようになる。「たなばたさま」、「うみ」。		
4	【到達目標】 楽典(楽譜の理解)。 【授業内容】 楽典「大譜表」「音名」が理解できる。「ぶんぶんぶん」。			12	【到達目標】 前期定期試験の準備を始める。生活の歌「おかえりのうた」の習得。 【授業内容】 前期試験を展望したピアノ曲の習得。「おつかいありさん」、「シャボン玉」。		
5	【到達目標】 楽典、保育活動における「生活の歌」の理解。 【授業内容】 楽典「大譜表」「音名」が理解できる。「はをみがきましょう」。			13	【到達目標】 季節の歌(夏)の習得が出来る。 【授業内容】 季節の歌「夏」の習得、弾き歌い。定期試験の試験曲を決める。「おはけなんてないさ」。		
6	【到達目標】 楽典、保育活動における「生活の歌」の理解。 【授業内容】 楽典「大譜表」「音名」が理解できる。「かわいいかくれんぼ」。			14	【到達目標】 前期定期試験の準備とリハーサル。 【授業内容】 前期定期試験のピアノ曲と弾き歌い曲の練習と習得。「アイスクリームのうた」。		
7	【到達目標】 生活の歌、打楽器の奏法理解。 【授業内容】 打楽器の正しい演奏法が分かる。「かたつむり」。			15	【到達目標】 定期試験を行い、前期の到達度を理解する。 【授業内容】 前期で学習したピアノ曲1曲と季節の歌弾き歌いの計2曲を演奏する。		
8	【到達目標】 中間試験を行い、前期前半の到達度を理解する。 【授業内容】 前期前半部の目標が達成できている(ピアノと楽典)。「音名とコードネーム」の理解ができる。「すてきなパパ」、「とけいのうた」。			【評価について】 実技試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	図工 Arts and crafts education	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	川口 麗
学科・コース	保育士科	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 月曜 1/2限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
美術科修士課程修了。美大予備校、カルチャー教室、自宅アトリエ、幼稚園アート教室にて、大人や子どもの創作活動に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は、子どもの表現力や創造力を育むための基礎知識を学ぶ制作演習である。 美術教育の立場から、現状や観点を伝える。							
【到達目標】							
・発達段階に応じた絵画造形の基礎を学び、創作活動を適切に指導する技術を身に付ける。 ・材料や画材の知識を深め、表現に適した選択ができる。 ・表現の楽しさを学び、伝えることができる。他者の表現に寄り添うことができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 教員の指示に従い準備をすること(スケッチブック、画材など)				【授業外における学習】 想像力を広げたい。日常の中で興味深く観察する視点を持ち制作に活かす。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 幼児の表現に関心を持ち、画材の種類を知る。クリニカルアート、アートセラピーについて知る。 【授業内容】 講義「前期の振り返り。作品紹介。臨床美術分野での活動意義。」			9	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習「アクリル画」		
2	【到達目標】 パネルシアター、スケッチブックシアター、マジックシアター、動く工作について知る。 【授業内容】 講義「作品紹介。講師による実演。」			10	【到達目標】 演習で学んだ技法の実践と復習、応用。 【授業内容】 演習「絵本制作①」		
3	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習「絞り染め」			11	【到達目標】 演習で学んだ技法の実践と復習、応用。 【授業内容】 演習「絵本制作②」		
4	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習「飛び出すカード」			12	【到達目標】 演習で学んだ技法の実践と復習、応用。 【授業内容】 演習「絵本制作③」		
5	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習「変わり絵、マジックシアター」			13	【到達目標】 演習で学んだ技法の実践と復習、応用。 【授業内容】 演習「絵本制作④」		
6	【到達目標】 紙ねんどの特性をふまえ、材料と技法を知る。 【授業内容】 演習「紙ねんど制作」			14	【到達目標】 演習で学んだ技法の実践と復習、応用。 【授業内容】 演習「絵本制作⑤」		
7	【到達目標】 デッサンとコラージュを組み合わせ、幼児向けに制作する過程を知る。 【授業内容】 演習「果物のデッサンコラージュ」			15	【到達目標】 演習で学んだ技法の実践を通し、一冊の本にする。他者の作品を観覧し今後の参考にすることができる。 【授業内容】 演習「絵本制作⑥ 展示会」		
8	【到達目標】 道具と技法を知る。アートセラピーを体験する。 【授業内容】 演習 臨床美術課題「色のアラベスク」			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 他者の表現に興味を持ち観察してみよう。							

科目名 (英)	音楽 Music	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	浅子 元 柿沼 秀子
学科・コース	保育士科	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 月曜 1/2限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 保育者養成校にて20年のピアノ・音楽指導を行う。また保育園にてリトミック指導を10年行う。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 長年の音楽(ピアノ)教育の経験から、ピアノ・歌唱のほか、リトミック、打楽器演奏、オペレッタを2002年から専門学校にて指導している。 本科目は、音楽的基礎力(楽典)に注力し保育者として必要とされる音楽技術を学ぶ。基本、毎回の授業でピアノの練習とレッスンをを行う。バイエルピアノ教則本の80番までを仕上げる。							
【到達目標】 ・保育者、教育者として必要な基礎的な音楽の技術と理論を習得する。 ・「ピアノを使って楽しく音楽が指導できる人を養成する」を授業の目標とする。 ・バイエルピアノ教則本80番まで。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「こどものうた200」チャイルド社 ・「標準バイエルピアノ教則本」全音楽譜出版社				【授業外における学習】 必要な事項は次回の授業までに充分習得しておくことを求めます。ピアノは毎日少しでも練習を積むことが必要です。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 オリエンテーションを行い後期の到達目標を理解する。生活の歌「さよならのうた」の習得。 【授業内容】 後期の授業のオリエンテーションを行い、年度末の自分の到達点をイメージできるようにする。「とんぼのめがね」。			9	【到達目標】 ピアノ曲の練習と習得をする。 【授業内容】 ピアノ練習曲(バイエル)を進める。「あわてんぼうのサンタクロース」、「ジングルベル」。		
2	【到達目標】 バイエルピアノ教則本の習得。 【授業内容】 「バイエルの作品」を1曲しっかり仕上げる。「世界中のこどもたちが」。			10	【到達目標】 保育の音楽活動の疑似体験をする。 【授業内容】 保育の一場面を想定したロール・プレイングができる①。「お正月」。		
3	【到達目標】 生活の歌の習得をする。「おはようのうた」、「あさのうた/D」。 【授業内容】 「生活のうた」を1曲ずつしっかり仕上げる。「おはようのうた」を弾き歌いできるようにする。「どんぐりころころ」、「まつぼっくり」。			11	【到達目標】 保育の音楽活動の疑似体験をする。 【授業内容】 保育の一場面を想定したロール・プレイングができる②。「まめまき」。		
4	【到達目標】 季節の歌(秋)の習得をする。 【授業内容】 「秋の季節のうた」を練習し1曲弾き歌いが出来るようになる。「やきいもグーチャーパー」、「大きなくりの木の下で」。			12	【到達目標】 定期試験を展望しピアノ曲の練習と習得をする。 【授業内容】 ピアノのレッスンと試験対策。「うれしいひなまつり」。		
5	【到達目標】 正しい発声と音程の理解が出来る。 【授業内容】 歌唱:正しい発声と音程で歌うことが出来る。「きのこ」。			13	【到達目標】 弾き歌い曲の練習と習得をする。 【授業内容】 弾き歌い曲の練習とレッスンと試験対策。「思い出のアルバム」、「春がきた」。		
6	【到達目標】 生活の歌の習得をする。 【授業内容】 1年生のうちに生活の歌を6曲完成させる。今日で5曲完成する。「どんぐりころころ」、「たきび」。			14	【到達目標】 後期定期試験の準備。 【授業内容】 試験曲の練習をして定期試験に備える。「一年生になったら」。		
7	【到達目標】 ピアノ曲の習得、季節の歌(秋)の練習をする。 【授業内容】 今練習しているピアノ曲を仕上げる。秋の歌の練習をする。「森のくまさん」、「ゆき」。			15	【到達目標】 定期試験により1年間の到達状況を理解する。 【授業内容】 後期で学習したピアノ曲1曲。後期で学習した季節の歌を弾き歌いで1曲。合計2曲を演奏する。課題曲9曲の中から1曲選ぶ。		
8	【到達目標】 中間試験を行い、前期前半の到達度を理解する。 【授業内容】 「季節のうた」を1曲仕上げいつでも弾き歌いができるようになる～秋の歌～。「たきび」。			【評価について】 実技試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	保育者論 Nursery teacher theory	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	海老原孝一
	学科・コース	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 木曜 1限
【実務経験】公立の小中学校で教育職員をした後、海外の日本入学校や幼稚園で18年間教育・運営に携わり、帰国後、2017年から東京福祉専門学校で保育科の学生を指導、2021年からは埼玉福祉保育医療専門学校の保育科並びに言語聴覚士科でも英語や文章表現等の授業を担当している。近大では「教育方法論」を担当している。 【授業の学習内容】 保育者とは何か、自身が将来目指す保育者像を描くことができるようになる。また保育者の役割と責務について理解し、保育・幼児教育に関わる者としての意欲の向上を図る。							
【到達目標】 ・保育者の役割と倫理、保育士の制度的な位置づけを理解し、専門性について考察することができる。 ・保育者の連携・協働について理解することができる。 ・保育者の資質向上とキャリア形成について理解することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 新・基本保育シリーズ 7 保育者論				【授業外における学習】 予習や復習、資料準備などを事前に連絡する。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 保育者の役割や職務について知る。 【授業内容】 保育者の役割・職務内容			9	【到達目標】 保育における職員間の連携・協働の重要性を理解する。 【授業内容】 保育における職員間の連携・協働		
2	【到達目標】 保育者の倫理について理解する。 【授業内容】 保育者の倫理			10	【到達目標】 専門機関について知り、そことの協働について理解する。 【授業内容】 専門機関および専門機関との連携・協働		
3	【到達目標】 保育者の資格と責務について理解する。 【授業内容】 保育者の資格と責務			11	【到達目標】 地域社会との連携について理解する。 【授業内容】 地域社会との連携・協働		
4	【到達目標】 保育者の資質と能力について知り、自分を振り返る。 【授業内容】 保育者の資質・能力			12	【到達目標】 保育における関係機関について知る。 【授業内容】 関係機関との連携		
5	【到達目標】 擁護と教育がどのように関連しているかを理解する。 【授業内容】 擁護および教育の一体的展開			13	【到達目標】 保育者としての資質の向上のために組織として何ができるかを知る。 【授業内容】 資質向上に関する組織的取組		
6	【到達目標】 家庭と保護者に対する支援の重要性について知る。 【授業内容】 家庭との連携と保護者に対する支援			14	【到達目標】 保育者のキャリアアップについて知る。 【授業内容】 保育の専門性の向上とキャリア形成の意義		
7	【到達目標】 保育の実践とその評価について理解する。 【授業内容】 計画に基づく保育の実践と省察・評価			15	【到達目標】 保育におけるリーダーシップの取り方を知る。 授業1～授業15を振り返り、定期試験を受けることができる。 【授業内容】 保育におけるリーダーシップ 【定期テスト】学習したことを振り返り、テストに臨む。		
8	【到達目標】 保育の質の向上のために自分ができることを知る。 【授業内容】 保育の質の向上			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価（特別補講を実施）			
【特記事項】 保育者論の時間に現場での学びの振り返りを行います。保育者として身につけるべき心構えや態度等の育成を図る授業です。 保育内容演習との連携授業を行う。							

科目名 (英)	保育内容総論 Early Childhood Education Curriculum	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	大山 華奈 泉 咲希
	学科・コース 保育士科 昼間主コース	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 木曜 1限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 保育士として保育現場での実務経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目は、保育所保育指針における「保育の目標」等を理解し、保育内容について全体的な構造を学ぶ。子どもの発達に合わせた保育の計画・実践・評価について実践的に学び、保育や子ども理解を深めていく。							
【到達目標】 ①保育所保育指針における「保育の目標」、「子どもの発達」、「保育の内容」を関連付けて保育内容を理解し、保育指針の各章のつながりを読み取り、保育の全体的な構造を理解する。②保育内容の歴史的変遷について学び、保育内容について理解する。③観察や記録の観点を習得し、保育内容と子ども理解とのかわりについて学ぶ。④養護と教育が一体的に展開することを具体的な保育実践につなげて理解する。⑤保育の多様な展開について具体的に学ぶ。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「保育所保育指針ハンドブック2017年告示板イラストたっぷりやさしく読み解く」学研				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 実習に臨む姿勢、心構え、動機を確認することができる。 【授業内容】 実習オリエンテーション			9	【到達目標】 実習生として現場で学ぶ意識を持ち、意欲をもって取り組むことができる。 【授業内容】 実習に向けての心構え・実習生紹介書作成		
2	【到達目標】 現場で使用する名札を作り、実習に向けた準備をすることができる。 【授業内容】 名札作り			10	【到達目標】 社会人に向けての基本的なマナーを身につけ、自信をもって話すことができる。 【授業内容】 オリエンテーション(電話のかけ方・マナー・身だしなみ)		
3	【到達目標】 現場で使用する名札を作り、実習に向けた準備をすることができる。 【授業内容】 名札作り			11	【到達目標】 指導案・パネルシアターを作成し、実践することができる。 【授業内容】 パネルシアター制作・指導案		
4	【到達目標】 実習日誌・エピソードの書き方について学び、その意義を理解する事が出来る。 【授業内容】 日誌の書き方			12	【到達目標】 指導案・パネルシアターを作成し、実践することができる。 【授業内容】 パネルシアター制作・指導案		
5	【到達目標】 実習日誌・エピソードの書き方について学び、その意義を理解する事が出来る。 【授業内容】 エピソードの書き方			13	【到達目標】 指導案・パネルシアターを作成し、実践することができる。 【授業内容】 パネルシアター制作・指導案		
6	【到達目標】 絵本の読み聞かせを計画し、実践することができる。 【授業内容】 絵本選び・指導案の書き方・実践			14	【到達目標】 指導案・パネルシアターを作成し、実践することができる。 【授業内容】 パネルシアター制作・指導案		
7	【到達目標】 絵本の読み聞かせを計画し、実践することができる。 【授業内容】 絵本選び・指導案の書き方・実践			15	【到達目標】 模擬保育にてパネルシアターの実践を行い、保育者の視点を学ぶことができる。 【授業内容】 定期試験(模擬保育)		
8	【到達目標】 絵本の読み聞かせを計画し、実践することができる。 【授業内容】 中間試験(模擬保育)			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	乳児保育 I Infant nursing Care I	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	坂本 美登里
学科・コース	保育士科(昼間主コース)	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 木曜 2限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 私立保育園に長年勤務し、乳幼児の保育に携わる。また、児童養護施設に勤務経験あり。現在は小規模保育園で0・1・2歳児の子どもたちを保育している。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 現在も日々乳児の保育に携わっている講師が、今現場で展開されている子どもたちの生活や遊び、保護者支援の話などを取り入れ、より具体的でリアルな講義を行う。本科目では、3歳未満児の発達の特徴を踏まえた遊びや生活の援助の仕方や保育士の役割を理解し、養護と教育の一体性を踏まえた乳児保育の基本を理解してほしい。乳児期の保育が子どもたちの心と体の基礎を作ること的理解し、適切な指導計画が立てられるようになってほしい。							
【到達目標】 ・乳児保育の意義・目的と歴史的変遷及び役割について理解する。 ・保育所・乳児院など多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 ・3歳未満児の発育・発達をふまえた保育の内容と運営について理解する。 ・乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「はじめて学ぶ乳児保育 第2版」同文書院 ・「保育所保育指針ハンドブック2017年告示版イラストたっぷりやさしく読み解く				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 乳児保育を学ぶ心構えができる。乳児保育の意義・歴史的変遷について理解する。 【授業内容】 授業オリエンテーション(授業の進め方を知る)。乳児保育に必要な基礎的な知識を獲得し、乳児に携わる喜びや意義を理解する。			9	【到達目標】 0歳児の発達を理解し、子どもたちの成長とともに喜びあえる知識と、親または保育士との愛着関係の大切さを知る。 【授業内容】 0歳児の子ども発達を知り、それに伴った保育士の役割を理解する。		
2	【到達目標】 乳児保育の中で行われている養護的な要素と教育的な要素について理解し、それぞれを一体的に展開することの意義を記述できる 【授業内容】 保育所保育指針での養護と教育の一体性を理解し、養護的要素・教育的要素について考察するとともに、子どもの権利について考える。			10	【到達目標】 1歳児から2歳児の発達を理解し、子どもたちの成長とともに喜びあえる知識と、親または保育士との愛着関係の大切さを知る。 【授業内容】 1・2歳児の子ども発達を知り、それに伴った保育士の役割を理解する。		
3	【到達目標】 様々な乳児保育の現場について分類でき、それぞれの役割や機能について理解し、保育士の仕事について述べるができる。 【授業内容】 保育所・小規模保育園・乳児院などの保育現場について特徴を理解し、保育の勤務内容とその意義を知る。			11	【到達目標】 乳児の生活について理解し、それらに必要な環境について考えを述べるができる。 【授業内容】 様々な保育施設の保育環境について調べ、保育所保育指針と照らし環境設定に必要な事項について理解する(保育室のデザイン)		
4	【到達目標】 保育所における乳児保育の役割と現状について理解し、保育士に必要な技術について述べるができる。 【授業内容】 保育所保育指針に記載されている乳児保育の内容について知る。担当制による乳児保育の現状と保育士の役割分担について学ぶ			12	【到達目標】 乳児の発達と遊びの特徴を理解し、3歳未満の子ども発達を促す手作りおもちゃについてグループで考え、作成する。 【授業内容】 乳児の発達について理解し、発達に合ったおもちゃ作りをグループワークでしていく。		
5	【到達目標】 保育所以外の児童福祉施設における乳児保育について理解し、保育士に必要な知識や技術について述べるができる。 【授業内容】 乳児院や療育センターについて、その施設を利用する子の特徴や背景を理解し、保育士の勤務内容を知る。虐待の早期発見の重要性を			13	【到達目標】 乳児の発達と遊びの特徴を理解し、3歳未満の子ども発達を促す手作りおもちゃについてグループで考え、作成する。 【授業内容】 乳児の発達について理解し、発達に合ったおもちゃ作りをグループワークでしていく。		
6	【到達目標】 子育て支援の社会的背景や施策について理解し、保育士がどのように関わりどのような課題があるのかをまとめることができる。 【授業内容】 子ども子育て支援(内閣府)パンフレットを使用し施策について理解し、保護者とわかりあうためにどのような支援を行うかを知る。			14	【到達目標】 3歳未満児の発育・発達を段階的に理解し、保育士などによる適切な保護者支援や関りについて述べるができる。 【授業内容】 保護者の不安にどう対応していくのかを学び、連絡帳の模擬記入をすることができる。		
7	【到達目標】 保育園で行われている保護者支援を理解し、保育士がどのように保護者と連携を図っているのかを模擬的に体験する。 【授業内容】 保護者向け懇談会を体験し、その意味と保育士の持つべき知識力について考える。			15	【到達目標】 定期テストにより、前期の学習内容を振り返る。 【授業内容】 定期テスト		
8	【到達目標】 3歳未満児と保護者を取り巻く環境を理解し、保育士に必要な知識や技術を述べるができる。 【授業内容】 中間テスト これまでの授業内容について振り返る。			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	乳児保育Ⅱ Infant nursing CareⅡ	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	坂本 美登里
学科・コース	保育士科(夜間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 木曜 2限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 私立保育園に長年勤務し、乳幼児の保育に携わる。また、児童養護施設に勤務経験あり。現在は小規模保育園で0・1・2歳児の子どもたちを保育している。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目では、3歳未満児の発達の特徴を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解し、養護と教育の一体性を踏まえた乳児保育の基本を理解して欲しい。乳児期の保育が子どもの生きる力の基礎を養うことを踏まえ、適切な指導計画が立てられるようになって欲しい。乳児保育の専門性が社会に求められる意義を理解し、現場力を身につけて欲しい。							
【到達目標】 ・3歳未満児の発育・発達を踏まえた援助や関わりの基本的な考えについて理解する。 ・養護及び教育の一体化を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。 ・乳児保育における配慮の実際、計画の作成について具体的に理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「はじめて学ぶ乳児保育 第2版」同文書院				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 乳児保育の技術の基礎を理解する① 【授業内容】 新生児の抱き方・着替え・おむつ交換			9	【到達目標】 小麦粉粘土を作りその遊びを体験することで、乳児の感触遊びの大切さを理解し、楽しく遊ぶ方法をそれぞれが考える。 【授業内容】 感覚遊びに取り組む0・1・2歳児について学びを深める。		
2	【到達目標】 乳児保育の技術の基礎を理解する② 【授業内容】 新生児の授乳・調乳			10	【到達目標】 0・1・2歳児の発達に合った絵本を選ぶことができ、読みきかせをすることができる。 【授業内容】 絵本についての基礎知識や楽しみ方を理解し、自分で選んだ絵本をグループワークで読み聞かせする。		
3	【到達目標】 0歳児の発達を理解するとともに、遊びながら発達を促すベビーマッサージの技術を身につけることができる。 【授業内容】 赤ちゃん人形を使ったベビーマッサージ			11	【到達目標】 読み聞かせの技術を身につけ、ごっこ遊びにつながる絵本を知り、ごっこ遊びを体験することで、楽しい遊びの作り方を知る。 【授業内容】 遊びにつながる絵本を知り、読み聞かせ実践として自分の好きな絵本をグループワークで発表する。絵本のごっこ遊びを体験する。		
4	【到達目標】 描画活動の発達について理解し、0・1・2歳児の描画・造形活動について考えることができる。 【授業内容】 0・1・2歳児の描画活動の理解を深める。 造形活動:トランスパレントの製作			12	【到達目標】 0・1・2歳児の遊びの世界を理解し、みたくつくり遊びに必要な技術を身につけることができる。 【授業内容】 発達に合わせたおもちゃを理解し、乳児と楽しく遊ぶ技術を学ぶ。 タオル遊び・折り紙などで遊んでみる。		
5	【到達目標】 ①視覚的教材を作成し、教材を使った保育の技術を獲得する。 【授業内容】 手袋シアターを作成する。			13	【到達目標】 離乳食についての基礎的な知識と、食事の介助の方法を理解する。また、1・2歳児の食事やアレルギー食への知識を深める。 【授業内容】 乳児の発達と離乳食の進み方を理解し、実際の現場での離乳食の介助方法を知る。		
6	【到達目標】 ②視覚的教材を作成し、教材を使った保育の技術を獲得する。 【授業内容】 手袋シアターを作成する。			14	【到達目標】 定期テストで授業の振り返りができる① 【授業内容】 定期テスト①実技試験「だっこ」「おむつ交換」		
7	【到達目標】 手袋シアターの発表に向けて、グループで話し合い、指導案を作成し、発表に向けての練習をする。 【授業内容】 手袋シアターを使用した部分実習の指導案をグループで作成する。			15	【到達目標】 定期テストで授業の振り返りができる② 【授業内容】 定期テスト②筆記試験「乳児保育Ⅱの振り返り」		
8	【到達目標】 視覚的教材(手袋シアター)を使った保育の技術を獲得する。 【授業内容】 手袋シアターの発表を行う。 ・中間テスト			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	保育内容演習 Seminar for Contents of Early	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	大山 華奈 泉 咲希
学科・コース	保育士科 昼間主コース	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 木曜 2限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 保育士として保育現場での実務経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目は、保育所保育指針における「保育の目標」等を理解し、保育内容について全体的な構造を学ぶ。子どもの発達に合わせた保育の計画・実践・評価について実践的に学び、保育や子ども理解を深めていく。							
【到達目標】 ①保育所保育指針における「保育の目標」、「子どもの発達」、「保育の内容」を関連付けて保育内容を理解し、保育指針の各章のつながりを読み取り、保育の全体的な構造を理解する。②保育内容の歴史的変遷について学び、保育内容について理解する。③観察や記録の観点を習得し、保育内容と子ども理解とのかわりについて学ぶ。④養護と教育が一体的に展開することを具体的な保育実践につなげて理解する。⑤保育の多様な展開について具体的に学ぶ。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「保育所保育指針ハンドブック2017年告示板イラストたっぷりやさしく読み解く」学研				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 実習に臨む姿勢、心構え、動機を確認することができる。 【授業内容】 実習オリエンテーション			9	【到達目標】 実習生として現場で学ぶ意識を持ち、意欲をもって取り組むことができる。 【授業内容】 実習に向けての心構え・実習生紹介書作成		
2	【到達目標】 現場で使用する名札を作り、実習に向けた準備をすることができる。 【授業内容】 名札作り			10	【到達目標】 社会人に向けての基本的なマナーを身につけ、自信をもって話すことができる。 【授業内容】 オリエンテーション(電話のかけ方・マナー・身だしなみ)		
3	【到達目標】 現場で使用する名札を作り、実習に向けた準備をすることができる。 【授業内容】 名札作り			11	【到達目標】 指導案・パネルシアターを作成し、実践することができる。 【授業内容】 パネルシアター制作・指導案		
4	【到達目標】 実習日誌・エピソードの書き方について学び、その意義を理解する事が出来る。 【授業内容】 日誌の書き方			12	【到達目標】 指導案・パネルシアターを作成し、実践することができる。 【授業内容】 パネルシアター制作・指導案		
5	【到達目標】 実習日誌・エピソードの書き方について学び、その意義を理解する事が出来る。 【授業内容】 エピソードの書き方			13	【到達目標】 指導案・パネルシアターを作成し、実践することができる。 【授業内容】 パネルシアター制作・指導案		
6	【到達目標】 絵本の読み聞かせを計画し、実践することができる。 【授業内容】 絵本選び・指導案の書き方・実践			14	【到達目標】 指導案・パネルシアターを作成し、実践することができる。 【授業内容】 パネルシアター制作・指導案		
7	【到達目標】 絵本の読み聞かせを計画し、実践することができる。 【授業内容】 絵本選び・指導案の書き方・実践			15	【到達目標】 模擬保育にてパネルシアターの実践を行い、保育者の視点を学ぶことができる。 【授業内容】 定期試験(模擬保育)		
8	【到達目標】 絵本の読み聞かせを計画し、実践することができる。 【授業内容】 中間試験(模擬保育)			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	総合福祉技術(点字) Study for Braille	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	天野 亨
学科・コース	保育士科	授業 形態	演習	総単位 時間	15	開講区分 曜日・時間	前期 木曜 3限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 視覚しょうがい者で盲導犬と歩いています。長年点字を使い、学習・読書・点字楽譜を使って音楽の勉強もしてきました。点字や日本語の魅力をお伝えします。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) この授業では、友人と文通ができる程度の点字の読み書きを学ぶと共に、視覚しょうがいについての理解を深めていきます。							
【到達目標】 基本的な点字の学習を通じて、日本語を別の角度からとらえ返すと共に、それを使用する視覚しょうがい者のハンディキャップについての理解を深める。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「視覚障害者介護技術シリーズ1 初めての点訳 第3版」 ・点字器				【授業外における学習】 学習内容の予習・復習			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 名前を書こう 【授業内容】 点字器の正しい使い方と、点字の50音を理解しよう。			9	【到達目標】 形式名詞を学ぼう 【授業内容】 形式名詞について理解しよう。		
2	【到達目標】 単語を書こう 【授業内容】 点字で単語を正しく書こう。			10	【到達目標】 三つのハンディキャップについて理解しよう 【授業内容】 視覚しょうがい者のハンディキャップについて学ぼう。		
3	【到達目標】 数字とアルファベット 【授業内容】 点字の法則と数字・アルファベットとの関連性について学ぼう。			11	【到達目標】 盲導犬について知ろう 【授業内容】 盲導犬の仕事や、その主人との関係について考えよう。		
4	【到達目標】 付属語について 【授業内容】 自立語と付属語について学ぼう。			12	【到達目標】 こ・そ・あ・ど言葉について 【授業内容】 連体詞・副詞について学ぼう。		
5	【到達目標】 文章を書こう 【授業内容】 短い文章を正しい仮名使いで書こう。			13	【到達目標】 「ない」について理解しよう 【授業内容】 「ない」と言う言葉について学ぼう。		
6	【到達目標】 文節分ち書き 【授業内容】 文節分ち書きについての理解を深めよう。			14	【到達目標】 終了作品を作ろう。 【授業内容】 点字授業の最後にあたり、終了作品を作ろう。		
7	【到達目標】 補助動詞 【授業内容】 補助動詞について学ぼう。			15	【到達目標】 テスト 【授業内容】 今まで習得した点字の技術进行评估するための試験と振り返り。		
8	【到達目標】 振り返りとテスト 【授業内容】 今まで習得した点字の技術进行评估するための試験と振り返り。			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	保育内容の理解と方法 Understanding and method for Childcare contents	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	さいたま市私立園保育協会 大山華奈/澤田みずほ
	学科・コース	保育士科	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 保育士資格をもつ、地域の保育所で働く現職の保育士が授業を実施する。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目は、学生が各保育所の現場に赴き、各保育所の特色や保育の取り組みについて実践を通して学び、保育職と子どもの理解に繋がる事を目的とした科目である。授業毎の課題を基に行った実践を振り返り、各保育所で得てきた学びをドキュメンテーションを通して共有し、各々の保育に対する理解を深めていく。							
【到達目標】 ・保育現場の実際や実態を学び、保育の基本や保育者の役割を理解することができる。 ・子どもの発達や保育の環境、内容を理解したうえで、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。 ・保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「保育所保育指針ハンドブック2017年告示板イラストたっぷりやさしく読み解く」学研				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 保育における五領域について知り、現場を想像しながら、観察に向けて準備をすることが出来る。 【授業内容】 オリエンテーション・グループ決め・保育観察について			9	【到達目標】 各保育所の特色を踏まえて、【主体性～保育者～】について観察し、振り返り考察することができる。 【授業内容】 各保育所にてグループ活動・保育観察・振り返り		
2	【到達目標】 各保育所の特色を踏まえて、【養護】について観察し、振り返り考察することができる。 【授業内容】 各保育所にてグループ活動・保育観察・振り返り			10	【到達目標】 各保育所の特色を踏まえて、【主体性～保育者～】について観察し、振り返り考察することができる。 【授業内容】 各保育所にてグループ活動・保育観察・振り返り		
3	【到達目標】 各保育所の特色を踏まえて、【養護】について観察し、振り返り考察することができる。 【授業内容】 各保育所にてグループ活動・保育観察・振り返り			11	【到達目標】 2週を通して観察してきた事をまとめ、全体で共有する事が出来る。 【授業内容】 グループワーク・次週観察する保育所への準備		
4	【到達目標】 2週を通して観察してきた事をまとめ、全体で共有する事が出来る。 【授業内容】 グループワーク・ドキュメンテーションの振り返り			12	【到達目標】 各保育所の特色を踏まえて、【関わり～子ども同士～】について観察し、振り返り考察することができる。 【授業内容】 各保育所にてグループ活動・保育観察・振り返り		
5	【到達目標】 各保育所の特色を踏まえて、【主体性～環境～】について観察し、振り返り考察することができる。 【授業内容】 各保育所にてグループ活動・保育観察・振り返り			13	【到達目標】 各保育所の特色を踏まえて、【関わり～子ども同士～】について観察し、振り返り考察することができる。 【授業内容】 各保育所にてグループ活動・保育観察・振り返り		
6	【到達目標】 各保育所の特色を踏まえて、【主体性～環境～】について観察し、振り返り考察することができる。 【授業内容】 各保育所にてグループ活動・保育観察・振り返り			14	【到達目標】 2週を通して観察してきた事をまとめ、全体で共有する事が出来る。 【授業内容】 グループワーク・次週観察する保育所への準備		
7	【到達目標】 2週を通して観察してきた事をまとめ、全体で共有する事が出来る。 【授業内容】 グループワーク・次週観察する保育所への準備			15	【到達目標】 全4箇所に渡る保育所、4つの課題について振り返り、グループ内で学びをまとめ、全体に共有することができる。 【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 これまで観察してきた保育所の特色ある保育内容と各テーマについてまとめ、全体で共有し、学びを深めることができる。 【授業内容】 中間試験			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	子どもの食と栄養 Infant nursing Care	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	関口 弘子
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 水曜 1限
学科・コース	保育士科(昼間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 長きに渡り、栄養士養成施設において、栄養学、栄養指導論、栄養指導論実習などの科目を担当。現在はクリニックで食事や運動指導を行っている。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目は、食生活の意義について学び、栄養に関する基本的知識を習得する。自身の食生活や健康を振り返るとともに、乳幼児期における食生活の重要性について主体的に考える力を養う。基本的な栄養学の知識を学び、成長期の体のしくみや食事のとり方などを習得する。幼児教育の現場において、子どもたちに安全、かつ適切な食事指導ができる能力を持つ保育士になるべく本科目を受講して欲しい。							
【到達目標】 ・健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を習得する。子どもの発育・発達と食生活の関連について理解する。 ・保育における食育の意義、目的、基本的考え方、その内容等について理解する。 ・家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について理解する。また特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「新基本保育シリーズ⑩子どもの食と栄養」中央法規				【授業外における学習】 専門用語が多いので、授業で行った内容を次回の授業までに復習してくること。 小テストの結果を見直し、不正解だった箇所があれば正しく覚えなおすこと。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 授業の進め方と評価方法を知ることができる。 栄養の基礎的な用語を知ることができる。 【授業内容】 授業の進め方と概要。普段の食生活を考える。			9	【到達目標】 1日に必要なエネルギーと栄養素の量を知ること、子どもの成長過程に役立つ栄養の摂り方を習得することができる。 【授業内容】 厚生労働省から提示されている1日の食事摂取基準について		
2	【到達目標】 5つの栄養素の種類と、基本的な働きを習得することができる。 【授業内容】 五大栄養素の概要			10	【到達目標】 摂取した食物がどのように消化吸収されるかを理解し、効率的な栄養の摂り方を知ることができる。 【授業内容】 消化管の働き		
3	【到達目標】 炭水化物の分類と、それぞれの働きの違いを知ることができる。 炭水化物の栄養的役割を知ることができる。 【授業内容】 炭水化物の種類と働き			11	【到達目標】 吸収された栄養素が、体内でどのように利用されるかを学び、食事と健康との関りを理解することができる。 【授業内容】 エネルギー代謝について		
4	【到達目標】 脂質の分類と、それぞれの働きの違いを知ることができる。 また、脂質の栄養的役割を知ることができる。 【授業内容】 脂質の種類と働き			12	【到達目標】 水分代謝と子どもに起こりやすい熱中症についての理解を深めることができる。また話題の機能性成分の種類と栄養効果を知る。 【授業内容】 水分代謝とフィトケミカル		
5	【到達目標】 タンパク質の分類と、それぞれの働きの違いを知ることができる。成長期における良質タンパク質の摂取方法を習得することができる。 タンパク質の種類と働き			13	【到達目標】 バランスの良い食事の知識や考え方を学び、子どもの食生活に活かす方法を習得することができる。 【授業内容】 エネルギー比率と1日の栄養配分について(栄養バランス)		
6	【到達目標】 ビタミンの種類とそれぞれの働きを知ることができる。過剰症、欠乏症など、ビタミンを摂る際の注意すべきことも知ることができる。 【授業内容】 ビタミンの種類と働き			14	【到達目標】 献立の立て方のポイントを学び、栄養バランスのとれた献立を考える能力を身に付けることができる。 【授業内容】 献立を考える際のポイントと調理における注意点		
7	【到達目標】 ミネラルの種類と、それぞれの働きを知ることができる。 成長期の骨を強くするための、ミネラル摂取方法を学ぶことができ 【授業内容】 ミネラルの種類と働き			15	【到達目標】 日常生活における栄養バランスのとり方を、身に着けることができる。 【授業内容】 期末試験		
8	【到達目標】 前半の授業ふりかえりをする事で、栄養学の基本を見直すことができる。 【授業内容】 前半の授業のふり返り。中間試験。			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 毎授業において板書のほか、大切と思われる部分はメモをとること。							

科目名 (英)	教育原理 Basic Study for Child Education	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	海老原 孝一
		授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 水曜 2限
学科・コース	保育士科(昼間・夜間主コース)						
【実務経験】公立の小中学校で教育職員をした後、海外の日本入学校や幼稚園で18年間教育・運営に携わり、帰国後、2017年から東京福祉専門学校で保育科の学生を指導、2021年からは埼玉福祉保育医療専門学校の保育科並びに言語聴覚士科でも英語やプロ養成等の授業を担当している。近大では「教育方法論」を担当している。							
【授業の学習内容】 教育の意義、歴史、現代教育の目的、教育がもたらす効果、教育に関わる時事問題、世界の教育等について、講師の経験を織り交ぜながら講義・演習を行う。受講者の主体性と表現能力を伸長する授業や活動を行う。							
【到達目標】 教育の意義と重要性について理解し、保育や幼児教育の場面において、学習したことを対象となるこどもや利用者の養育・教育に活かそうとする意欲と態度を身に着ける。							
【使用教科書・教材・参考書】 新基本保育シリーズ「教育原理」				【授業外における学習】 予習や復習、資料準備などを事前に連絡する。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 教育の意義について理解する。 【授業内容】 教育の意義			9	【到達目標】 子ども観と教育観について、自己の考え方を振り返る。 【授業内容】 子ども観と教育観		
2	【到達目標】 教育の目的とは何かを理解する。 【授業内容】 教育の目的			10	【到達目標】 教育制度について知る。 【授業内容】 教育制度の基本		
3	【到達目標】 幼児教育の特性について理解する。 【授業内容】 幼児教育の特性			11	【到達目標】 教育の法律と行政について知る。 【授業内容】 教育の法律と行政		
4	【到達目標】 教育と子ども家庭福祉の関連性について理解する。 【授業内容】 教育と子ども家庭福祉の関連性			12	【到達目標】 諸外国の教育制度を理解する。 【授業内容】 諸外国の教育制度		
5	【到達目標】 人間形成と家庭・地域社会の関連について理解する。 【授業内容】 人間形成と家庭・地域社会			13	【到達目標】 教育に関わる者としての態度を培う。 【授業内容】 教育実践の基礎		
6	【到達目標】 諸外国の教育思想について知る。 【授業内容】 諸外国の教育思想			14	【到達目標】 さまざまな教育実践について知る。 【授業内容】 さまざまな教育実践		
7	【到達目標】 諸外国の教育の歴史について知る。 【授業内容】 諸外国の教育の歴史			15	【到達目標】 生涯学習について関心を持つ。 授業1～授業15を振り返り、定期試験を受けることができる。 【授業内容】 生涯学習社会における教育の現状と課題 【定期テスト】学習したことを振り返り、テストに臨む。		
8	【到達目標】 日本の教育思想・歴史について知る。 【授業内容】 日本の教育思想・歴史			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 受講者の状況に合わせて、内容や学習の順番を変更する場合があります。							

科目名 (英)	社会的養護Ⅰ InstitutionⅠ	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	丑久保 行紀
		授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 水曜 3限
学科・コース	保育士科(昼間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 児童養護施設の職員として10年の勤務経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目は、社会的養護の意義や制度、実施体系について学ぶ。子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解するとともに、社会養護の現状や課題について、主体的に考察する力を養う。 担当教員のこれまでの現場経験の事例も紹介しながら、具体的でわかりやすい説明を行い、時に学生に考える時間を設け、より深く理解できる授業を行う。							
【到達目標】 ・社会的養護の意義と歴史の変遷について理解する。社会的養護の現状と課題について理解する。 ・子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する。 ・社会的養護の制度、実施体系、対象や形態、関係する専門職等に浮いて理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「新基本保育シリーズ⑥社会的養護Ⅰ」中央法規				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 社会的養護の概念について理解し、社会的養護の概念およびその理念と原理を理解できる。 【授業内容】 社会的養護とは何か・社会的要の基本理念と原理・社会的養護の基盤づくり			9	【到達目標】 予防的支援、在宅措置、代替養育を必要とする子供たちや家族がどのようなニーズを抱えているか理解できる。 【授業内】 児童虐待と社会的養護・措置解除後のアフターケアの対象と支援		
2	【到達目標】 社会的養護の歴史の変遷について学び、欧米・日本の社会的養護の歴史を理解する。 【授業内容】 欧米の社会的養護の歩み・日本の社会的養護の歴史			10	【到達目標】 社会的養護施策の動向、里親やファミリーホームなどの家庭養護施設と施設養護の現状と課題について理解できる。 【授業内容】 家庭養護と施設養護について・児童養護施設について・里親制度について		
3	【到達目標】 社会的養護における子どもの人権擁護の捉え方や、具体的養護の在り方を検討し、虐待の防止や対応を理解できる。 【授業内容】 子どもの人権擁護と社会的養護における虐待			11	【到達目標】 現場で働く専門職の業務内容及び求められる専門性について理解できる。 【授業内容】 専門性とは・国家資格、保育士について・児童福祉施設に配置されている職種と連携について		
4	【到達目標】 社会的養護の基本原則である「家庭養育優先原則」を学び、その根拠となる法律や条例等を理解できる。 【授業内容】 児童福祉法の改正・新しい社会的養育ビジョンについて・アイデンティティの形成			12	【到達目標】 現場社会的養護で暮らす子どもたちの背景や社会的養護の位置づけ、その相互関係について理解できる。 【授業内容】 現代社会における養護問題・児童福祉法改正と新しい社会的養育ビジョン		
5	【到達目標】 倫理とは社会生活上の行動規範であることを学び、社会的養護にかかわる専門職の倫理と責務について理解できる。 【授業内容】 倫理とは・社会的養護におけるケアと倫理・子どものケアに係る専門職・保育士の倫理綱領			13	【到達目標】 施設等の運営にかかわる内容と費用の仕組みや在り方について理解できる。 【授業内容】 児童福祉施設の運営主体について・社会福祉法人とは・施設における家庭的養護の推進と人事労務管理		
6	【到達目標】 「措置制度」とその背景原理、児童福祉法の概要、関連法規について学び、日本の社会的養護の制度と法体系について理解できる。 【授業内容】 社会的養護の制度について・社会的養護の基本法(児童福祉法)・社会的養護に関するさまざまな関連法規			14	【到達目標】 被措置児童等の虐待とは何かを理解し、被措置児童等の虐待防止の経緯を踏まえてその発生要因と課題について理解できる。 【授業内容】 被措置児童虐待とは・被措置児童虐待の現状について		
7	【到達目標】 児童相談所から社会的養護の施設や里親課程に至るまでのソーシャルワーク過程について理解できる。 【授業内容】 社会的養護の基本的なしくみ・社会的養護の実施体系			15	【到達目標】 地域福祉の中で児童福祉施設の役割について理解する。これまでの振り返りを通して、社会的養護についての理解を定着させる。 【授業内容】 定期試験・前期授業振り返り		
8	【到達目標】 ソーシャルワークについての基本的な視点や考えを確認し、社会的養護におけるソーシャルワークについて理解できる。 【授業内容】 ソーシャルワークの定義・社会的養護におけるソーシャルワーク・ファミリーソーシャルワーク・中間テスト			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 日頃から子どもに関する情報を新聞やネットで収集しておくことで学びが深まる。							

科目名 (英)	保育内容演習 Seminar for Contents of Early Childhood Care and Education	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	大山 華奈 泉 咲希
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 水曜 2・3限
学科・コース	保育士科						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 保育士資格をもつ、地域の保育所で働く現職の保育士が授業を実施する。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目は、子どもの発達に必要な活動について、学生自身が計画・実践・振り返りを行い、実践的に学ぶ科目である。学生はこの授業から保育の理解を深め、現場力を身につけて欲しい。また、グループワークを通じて保育現場に必要な相互理解の力を養って欲しい。							
【到達目標】 ①総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。 ②保育所保育指針における乳児保育の3つの視点と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域を通して捉え、保育の内容について具体的に理解する。 ③子どもが生活や遊びにおいて体験していることを捉えるとともに、保育士が留意、配慮すべき事項を理解する。 ④環境の構成、教材や遊具等の活用と工夫、保育の過程の実際について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「保育所保育指針ハンドブック2017年告示板イラストたっぷりやさしく読み解く」学研				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 保育における五領域について知り、現場を想像しながら、観察に向けて準備をすることが出来る。 【授業内容】 オリエンテーション・グループ決め・手遊びノート作成			9	【到達目標】 各保育所の特色を踏まえて、【主体性～保育者～】について観察し、振り返り考察することができる。 【授業内容】 各保育所にてグループ活動・保育観察・振り返り		
2	【到達目標】 各保育所の特色を踏まえて、【養護】について観察し、振り返り考察することができる。 【授業内容】 各保育所にてグループ活動・保育観察・振り返り			10	【到達目標】 各保育所の特色を踏まえて、【主体性～保育者～】について観察し、振り返り考察することができる。 【授業内容】 各保育所にてグループ活動・保育観察・振り返り		
3	【到達目標】 各保育所の特色を踏まえて、【養護】について観察し、振り返り考察することができる。 【授業内容】 各保育所にてグループ活動・保育観察・振り返り			11	【到達目標】 保育園観察で共有した学びを基に、次週のテーマに向けた準備をすることができる。 【授業内容】 グループワーク・次週観察する保育所への準備		
4	【到達目標】 保育園観察で共有した学びを基に、次週のテーマに向けた準備をすることができる。 【授業内容】 グループワーク・次週観察する保育所への準備			12	【到達目標】 各保育所の特色を踏まえて、【関わり～子ども同士～】について観察し、振り返り考察することができる。 【授業内容】 各保育所にてグループ活動・保育観察・振り返り		
5	【到達目標】 各保育所の特色を踏まえて、【主体性～環境～】について観察し、振り返り考察することができる。 【授業内容】 各保育所にてグループ活動・保育観察・振り返り			13	【到達目標】 各保育所の特色を踏まえて、【関わり～子ども同士～】について観察し、振り返り考察することができる。 【授業内容】 各保育所にてグループ活動・保育観察・振り返り		
6	【到達目標】 各保育所の特色を踏まえて、【主体性～環境～】について観察し、振り返り考察することができる。 【授業内容】 各保育所にてグループ活動・保育観察・振り返り			14	【到達目標】 保育園観察で共有した学びを基に、次週のテーマに向けた準備をすることができる。 【授業内容】 グループワーク・次週観察する保育所への準備		
7	【到達目標】 保育園観察で共有した学びを基に、次週のテーマに向けた準備をすることができる。 【授業内容】 グループワーク・次週観察する保育所への準備			15	【到達目標】 ・全4箇所に渡る保育所、4つの課題について振り返り、グループ内で学びをまとめ、全体に共有することができる。 ・各保育所で観察した、手遊び・絵本・紙芝居等の児童文化財を用いて、模擬保育を行う事が出来る。 【授業内容】 定期試験・お楽しみ会		
8	【到達目標】 ・各園のパンフレットを作成し、園の特色についてプレゼンすることが出来る。 ・保育園観察で共有した学びを基に、次週のテーマに向けた準備をすることができる。 【授業内容】 中間試験			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	子どもの保健	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	皆川 紘子
	Health care for infant	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 火曜 1限
学科・コース	保育士科(昼間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 救急看護認定看護師として新生児・乳児・幼児の看護に携わり、虐待対応や保護者対応、保育園へ訪問し保育士に対する指導などに携わっている。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 現場での経験と知識を生かし 保育士として子どもの健康の保持増進に必要な知識や技術の基礎を習得するための講義を行う。安心で安全が保障される保育を実施するために、子どもの命を預かる重要性和責任を自覚し、理解を深めてほしい。							
【到達目標】 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義、子どもの身体的な発育・発達と保健、子どもの心身の健康状態とその把握の方法、子どもの疾病とその予防法及び他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「子どもの健康と安全」中山書店 ・「改訂版 子どもの病気・けが 救急&ケアBOOK」世界文化社				【授業外における学習】 医療専門用語や難しい内容も多いので事前学習や予習をして講義を受け、毎回の「小テスト」を繰り返し行い学習内容の定着を目指して下さい。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 子どもの心身の健康と保健の意義 を学び理解することができる。 【授業内容】 子どもの保健活動の意義と目的 健康指標 子どもの保健の現状と課題			9	【到達目標】 子どもに多い病状・病気とその対処および予防について学び理解することができる。 【授業内容】 感染予防		
2	【到達目標】 子どもの健康と発育を学び理解することができる。 【授業内容】 成長発達の一般的原則			10	【到達目標】 子どもに多い病状・病気とその対処および予防について学び理解することができる。 【授業内容】 子どもに多い感染症とその対処		
3	【到達目標】 子どもの健康と発育を学び理解することができる。 【授業内容】 形態的発達			11	【到達目標】 子どもに多い病状・病気とその対処および予防について学び理解することができる。 【授業内容】 集団生活における感染症発症時の対処		
4	【到達目標】 子どもの健康と発育を学び理解することができる。 【授業内容】 運動機能の発達			12	【到達目標】 子どもに多い病状・病気とその対処および予防について学び理解することができる。 【授業内容】 予防接種		
5	【到達目標】 子どもの健康と発育を学び理解することができる。 【授業内容】 精神機能の発達			13	【到達目標】 子どもに多い病状・病気とその対処および予防について学び理解することができる。 【授業内容】 その他の急性・慢性疾患とその対処		
6	【到達目標】 子どもの健康と発育を学び理解することができる。 【授業内容】 生理的機能の発達			14	【到達目標】 児童虐待について学び理解することができる。 【授業内容】 児童虐待の定義・予防・対処		
7	【到達目標】 子どもの健康と発育を学び理解することができる。 【授業内容】 発育評価			15	【到達目標】 授業の内容の理解を深め定着することができる。 【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 子どもに多い病状・病気とその対処および予防について学び理解することができる。 【授業内容】 子どもが病気にかかりやすい理由 中間試験			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価			
【特記事項】 授業内容により実技の追加や複数回で学習する内容に関しては変更もあるため授業コマシラバスを参考にしてください。							

科目名 (英)	子どもの健康と安全	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	皆川 紘子
	Health and safety for childhood	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分	後期 火曜 1限
学科・コース	保育士科(昼間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 救急看護認定看護師として新生児・乳児・幼児の看護に携わり、虐待対応や保護者対応、保育園へ訪問し保育士に対する指導などに携わっている。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 保育士として子どもの健康の保持増進に必要な知識や技術の基礎を習得するための講義を行う。安心で安全が保障される保育を実施するために、子どもの命を預かる重要性和責任を自覚し、理解を深めてほしい。							
【到達目標】 保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助、衛生管理、事故防止及び安全対策、危機管理、災害対策、子どもの体調不良時等に対する適切な対応、保育における感染症対策、保育における健康的対応の基本的な考え方を踏まえて子どもの発達や状態等に即した適切な対応、子どもの健康及び安全の管理に関わる組織的取り組みや保健活動の計画及び評価等、各項目に関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ具体的に理解することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「改訂版 子どもの病気・けが 救急&ケアBOOK」世界文化社 ・「子どもの健康と安全」中山書店				【授業外における学習】 医療専門用語や難しい内容も多いので事前学習や予習をして講義を受け、毎回の「小テスト」を繰り返し行い学習内容の定着を目指して下さい。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 子どもの健康と安全を学び理解することができる。 【授業内容】 子どもの成長発達と健康 子供の健康に影響するもの 子どもを取り巻く環境と安全			9	【到達目標】 障害を持つ子どもと家族へのかかわり方を学び理解することができる。 【授業内容】 障害の概念		
2	【到達目標】 子どもの健康と子育てに必要な養護・しつけを学び理解することができる。 【授業内容】 居住・施設環境・基本的生活習慣・基本生活習慣の確立 日常に必要な養護			10	【到達目標】 障害を持つ子どもと家族へのかかわり方を学び理解することができる。 【授業内容】 障害を伴う病気・症状とそのケア		
3	【到達目標】 子どもの事故とその予防を学び理解することができる。 【授業内容】 子どもの事故の特徴			11	【到達目標】 障害を持つ子どもと家族へのかかわり方を学び理解することができる。 【授業内容】 精神的な障害(発達障害/神経症)とそのケア		
4	【到達目標】 子どもの事故とその予防を学び理解することができる。 【授業内容】 事故やけがの理解と応急処置①			12	【到達目標】 障害を持つ子どもと家族へのかかわり方を学び理解することができる。 【授業内容】 特殊なケアの介助方法		
5	【到達目標】 子どもの事故とその予防を学び理解することができる。 【授業内容】 事故やけがの理解と応急処置②			13	【到達目標】 災害の影響から子どもをできるだけ守るを学び理解することができる。 【授業内容】 災害の種類と影響 災害に備えて		
6	【到達目標】 子どもの事故とその予防を学び理解することができる。 【授業内容】 事故やけがの予防①			14	【到達目標】 地域との連携・協働を学び理解することができる。 【授業内容】 子どもにかかわる地域ネットワークシステム・保護者と地域における専門職との連携・協働		
7	【到達目標】 子どもの事故とその予防を学び理解することができる。 【授業内容】 事故やけがの予防②			15	【到達目標】 授業の内容の理解を深め定着することができる。 【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 前半の授業を振り返り学び理解することができる。 【授業内容】 前半の授業の振り返りと捕捉 中間テスト			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価			
【特記事項】 授業内容により実技の追加や複数回で学習する内容に関しては変更もあるため授業コマシラバスを参考にしてください。							

科目名 (英)	カウンセリング理論 counseling theory	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	柳 忠宏
学科・コース	保育士科	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 火曜 2限
【実務経験】							
臨床心理士、公認心理師。中学・高等学校の教諭として12年の教育臨床経験がある。医療法人のカウンセラーとして、9年の心理臨床経験がある。							
【授業の学習内容】							
人間関係を形成するために必要な心理学的支援を踏まえたコミュニケーションの意義や機能を学習する。 保育実践にかかわるカウンセリングの知識や心の病気について、実践的に学習する。 内省やグループワークの機会を設ける中で、一人ひとりが自己理解と他者理解を深化させ、チームマネジメントの基礎を学び、保育実践場面での素養を醸成する。							
【到達目標】							
対人援助職としてのカウンセリング・マインドの重要性を理解する。 カウンセリングの仕組みを理解し、コミュニケーション活動や援助に役立てる。 「障がい」「心の病気」の考え方、捉え方を身に付ける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
教員が資料を提示する。				心理学の専門的用語が出てくるので、分からない用語はネット検索を用いてもよい。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 カウンセリング技法を理解する 【授業内容】 オリエンテーション、カウンセリング技法1			9	【到達目標】 心理テストを理解する1 【授業内容】 心理テスト1		
2	【到達目標】 カウンセリング技法を理解する 【授業内容】 カウンセリング技法2			10	【到達目標】 心理テストを理解する2 【授業内容】 心理テスト2		
3	【到達目標】 カウンセリング技法を理解する 【授業内容】 カウンセリング技法3			11	【到達目標】 心理テストを理解する3 【授業内容】 心理テスト3		
4	【到達目標】 カウンセリング技法を理解する 【授業内容】 カウンセリング技法4			12	【到達目標】 コミュニケーションスキルを理解する(認知行動療法) 【授業内容】 認知行動療法1		
5	【到達目標】 アートセラピーを理解する1 【授業内容】 アートセラピー1			13	【到達目標】 コミュニケーションスキルを理解する(認知行動療法) 【授業内容】 認知行動療法2		
6	【到達目標】 アートセラピーを理解する2 【授業内容】 アートセラピー2			14	【到達目標】 コミュニケーションスキルを理解する(認知行動療法) 【授業内容】 認知行動療法3		
7	【到達目標】 アートセラピーを理解する3 【授業内容】 アートセラピー3			15	【到達目標】 カウンセリングのまとめをする 【授業内容】 カウンセリング総括、定期試験		
8	【到達目標】 途中経過のおさらいをする 【授業内容】 中間試験、動画鑑賞			【評価について】			
【特記事項】				筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価			
板書したこと等は必ずメモをとること。							

科目名 (英)	保育内容の理解と方法 Understanding and method for Childcare contents	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	浅子 元
学科・コース	保育士科	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 火曜 2限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
保育者養成校にて20年のピアノ・音楽指導を行う。また保育園にてリトミック指導を12年行う。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
長年の音楽(ピアノ)教育の経験から、ピアノ・歌唱のほか、リトミック、打楽器演奏、オペレッタを2002年から専門学校にて指導している。 本科目は、1年次に習得した基礎的なピアノの実力を基に、実習で使用する「季節の歌」の習得、リズム遊び・リトミックの初歩の段階の指導ができるように学ぶ。また、オペレッタの製作と発表までの取り組みを通じて、保育内容の充実や保育者の役割についても総合的に学ぶ。							
【到達目標】							
・保育現場の実態を学び、保育の基本や保育者の役割を理解することができる。 ・子どもの発達や保育の環境、内容を理解したうえで、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。 ・保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・「こどものうた200」チャイルド社 ・「標準バイエルピアノ教則本」全音楽譜出版社							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 オリエンテーションを行い、前期で学習する内容と、年間到達目標を理解する。 【授業内容】 リトミック…(リズム)基礎リズム1～4、2拍の拍子感。			9	【到達目標】 リトミック…(ティーチング)0歳児、1歳児のリトミックの活動を実演し習得する。季節の歌「夏」「秋」の習得。ピアノの伴奏と歌唱をする。 【授業内容】 ピアノの復習とコード・ネームの基礎の復習、夏、秋の歌の練習(ピアノ、うた)。弾きうたい。		
2	【到達目標】 リトミック…(リズム)基礎リズム1～4、2拍、3拍の拍子感の習得を図る。ピアノの復習を行う。 【授業内容】 ピアノの復習…生活の歌6曲。歌唱…季節の歌「春」。			10	【到達目標】 リトミック…(ティーチング)0歳児、1歳児のリトミックの活動を実演し習得する。 【授業内容】 親子リトミック(0歳児、1歳児)で出来ること、出来ないことの理解をする。		
3	【到達目標】 リトミック…(リズム)基礎リズム1～4、2拍、3拍の拍子感の習得を図る。 【授業内容】 ダルクローズの基礎リズムの習得。2拍内で八分音符の音価でのリズムを習得する。			11	【到達目標】 リトミック…(ティーチング)1歳児、2歳児のリトミックの活動を実演し習得する。季節の歌「夏」「秋」の習得。ピアノの伴奏と歌唱をする。 【授業内容】 ピアノの復習とコード・ネームの基礎の復習、夏、秋の歌の練習(ピアノ、うた)。弾きうたい、うただけ、伴奏だけ。		
4	【到達目標】 リトミック…(リズム)基礎リズム5～8、2拍、3拍、4拍の拍子感の習得を図る。季節の歌「春」の習得。ピアノの伴奏と歌唱をする。 【授業内容】 ピアノの復習とコード・ネームの基礎の復習、春の歌の練習(ピアノ、うた)。			12	【到達目標】 リトミック…(ティーチング)1歳児、2歳児のリトミックの活動を実演し習得する。 【授業内容】 親子リトミック(0歳児、1歳児)で出来ること、出来ないことの理解をする。		
5	【到達目標】 リトミック…(リズム)基礎リズム5～8、2拍、3拍、4拍の拍子感の習得を図る。(ソルフェージュ)リズム聴取。 【授業内容】 ダルクローズの基礎リズムの習得。2拍内で八分音符の音価でのリズムを習得する。リズムの聴き取りと記譜を学ぶ。			13	【到達目標】 リトミック…(キーボード)即興演奏を経験する。 【授業内容】 キーボードを使用した自由な即興演奏を楽しむ。条件のある即興演奏(ハ長調、4分の4、8小節、両手)を一人ずつ行う。		
6	【到達目標】 リトミック…基礎リズムを発展させたリズム感の習得。季節の歌「春」「夏」の習得。ピアノの伴奏と歌唱をする。 【授業内容】 コードネームを活かした伴奏が出来るようになる。			14	【到達目標】 リトミック…(リズム)基礎リズム1～8のリズムステップ。季節の歌「夏」と「秋」から一曲ずつ弾き歌いが出来るようになる。 【授業内容】 季節の歌「夏」「秋」の習得。弾き歌いで演奏する。		
7	【到達目標】 リトミック…基礎リズムを発展させたリズム感の習得。 【授業内容】 口、手、足によるリズム表現を行う。リズム唱(口)、ビート(手)、基礎リズム(ステップ)。中間試験の準備。			15	【到達目標】 リトミック…(リズム)基礎リズム1～8のリズムステップ、(ソルフェージュ)リズム聴取。 【授業内容】 基礎リズムのリズム唱、クラブ、ステップの実演。基礎リズムのリズム聴取(紙面への書き取り)を行う。		
8	【到達目標】 リトミック…基礎リズム1～8のリズムステップが出来る。 【授業内容】 リズム唱(口)、ビート(手)、基礎リズム(ステップ)で1～8までを実演する。			【評価について】 実技試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	保育の心理学 Psychology of the childcare	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	田島 葵
学科・コース	保育士科(昼間主コース)	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 金曜 1限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
公認心理師として、発達障害児への個別療育やソーシャルスキルトレーニング、保護者への相談支援、スクールカウンセラー等の心理的支援に携わっている							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目を通じて、保育実践にかかわる心理学の知識や発達の基本原理について、体系的に学習する。省察やグループワークの機会を設ける中で、一人ひとりが自己理解と他者理解を深化させ、保育臨床場面での素養を醸成してほしい。							
【到達目標】							
1. 保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解する。 2. 子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を深める。 3. 子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を習得し、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「新基本保育シリーズ⑧保育の心理学」中央法規				【授業外における学習】 心理学の専門用語がでてくるので、予め教科書を読み、予習をしてくること。 分からない用語は、ネット検索を用いて調査してもよい。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 保育と心理学の概要、子どもの発達、保育実践、評価法について理解することができる。 【授業内容】 オリエンテーション 1. 発達を捉える視点			9	【到達目標】 認知機能について学び、知覚と認知の発達について理解することができる。 【授業内容】 2-3.認知の発達		
2	【到達目標】 乳幼児期の心身の発達を学び、子どもの発達とその意義を理解することができる。 【授業内容】 1-1.子どもの発達を理解することの意義			10	【到達目標】 言語機能について学び、言葉と社会性の発達について理解することができる。 【授業内容】 2-4.言語の発達		
3	【到達目標】 子ども相互のかかわりや関係づくりについて学び、子ども集団の特性について理解することができる。 【授業内容】 1-2.子どもの発達と環境			11	【到達目標】 保育実践における生活や遊びを通じた学びの過程の概要を理解することができる。 【授業内容】 3. 子どもの学びと保育		
4	【到達目標】 各種の発達理論を学び、保育実践で求められる子ども観、保育観を理解することができる。 【授業内容】 1-3.発達理論と子ども観・保育観			12	【到達目標】 行動主義と認知主義、乳幼児期の生活と学び、遊びと学びの諸理論を理解することができる。 【授業内容】 3-1.乳幼児期の学びに関わる理論		
5	【到達目標】 子どもの初期経験について学び、生涯発達と発達援助の概要を理解することができる。 【授業内容】 2. 子どもの発達過程			13	【到達目標】 乳幼児期の認知的学び・社会・情動的学び、基本的生活習慣の獲得を理解できる。 【授業内容】 3-2.乳幼児期の学びの過程と特性		
6	【到達目標】 感情と自我の発達を学び、他者とのかかわり、社会的相互作用を理解することができる。 【授業内容】 2-1.社会情動的発達			14	【到達目標】 乳幼児期から学童期における発達と学びの連続性、就学支援を理解することができる。 【授業内容】 3-3.乳幼児期の学びを支える保育		
7	【到達目標】 身体的機能と運動機能の発達を学び、身体感覚をとまなう多様な経験と環境との相互作用を理解することができる。 【授業内容】 2-2.身体的機能と運動機能の発達			15	【到達目標】 これまでの授業で学習したことをもとに、問題に答えることができる。 分からない問題を洗い出し、自分の課題を見つけることができる。 【授業内容】 定期試験、解答解説		
8	【到達目標】 これまでの授業を振り返り学習を深め、問題に答えることができる。 分からない問題を洗い出し、自分の課題を見つけることができる。 【授業内容】 これまでの授業の振り返り、中間試験、解答解説			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 板書したこと等は必ずメモをとること。							

科目名 (英)	カウンセリング演習 Counseling Studies	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	角田 友二
学科・コース	保育士科(昼間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 金曜 1限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 精神保健福祉士、臨床心理士、公認心理師。精神科病院でのソーシャルワーカーとしての経験、学校教育でのスクールカウンセラーとしての経験など40年位の経験							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 子育て、子育てが難しくなっている時代に、幼児期の子どもたちとその保護者にかかわる専門職を目指す学生が、この学校において心理的安全性のある学びをしながら、将来の職場で心理的安全性のある環境を作り、子どもたちやその保護者の困難さに支援・配慮のできるような人材の育成を目指す。カウンセリングを1対1の面接室での対話としてとらえるだけではなく、広く子どもたちを預かる場における関係性の中にある支援・配慮の総体として考える。							
【到達目標】 ・対人援助職を目指すうえでのカウンセリングの技術技能を習得する。 ・現代の子育て環境の特徴や諸問題を列挙できる。援助の上で必要な子どもや保護者のアセスメントができる。 ・自分の特徴やコミュニケーションの癖を説明できる。							
【使用教科書・教材・参考書】 必要資料は授業時に教員が配付する。 スキルアップ「保育園・幼稚園で使えるカウンセリング・テクニック」諸富祥彦 誠信書房				【授業外における学習】 幼児教育、家族の問題、心の問題、発達に係る問題など仕事につながる報道やドラマ、映画、著作物などは積極的に見ること。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 カウンセリングの理論と技法 【授業内容】 オリエンテーション、カウンセリング技法1 小テスト 配点5点			9	【到達目標】 こども集団、職場集団の心理的安全性とは何かを理解して、心理的安全性の高い集団作りのために何をするかを考える。カウンセリング 【授業内容】 グループ演習 小テスト 配点5点		
2	【到達目標】 カウンセリングが必要となる背景にあること。 【授業内容】 登園当初のストレスへの理解、カウンセリング技法2 小テスト 配点5点			10	【到達目標】 保護者向け講演会の企画を考える。カウンセリング技法10 【授業内容】 グループ演習 小テスト 配点5点		
3	【到達目標】 カウンセリングが必要となる背景にあること。 【授業内容】 発達障害に関する理解、カウンセリング技法3 小テスト 配点5点			11	【到達目標】 小学校入学に向けて、年長児対象の子どもたち向けのいじめ予防教育を考える。カウンセリング技法11 【授業内容】 グループ演習 小テスト 配点5点		
4	【到達目標】 カウンセリングが必要となる背景にあること。 【授業内容】 □			12	【到達目標】 公立小学校入学を前提とした幼・保・小連携による体験入学、子どもの個人情報(人物像・能力・交友関係)の共有連携を考える。カウンセリング技法12 【授業内容】 グループ演習 小テスト 配点5点		
5	【到達目標】 カウンセリングが必要となる背景にあること。 【授業内容】 不登校(園)に関する理解、カウンセリング技法5 小テスト 配点5点			13	【到達目標】 連絡帳の活用を考える。カウンセリング技法13 【授業内容】 園での様子をどのように伝えるのか、気になることがあった時の伝え方は小テスト配点 5点		
6	【到達目標】 カウンセリングが必要となる背景にあること。 【授業内容】 児童虐待(教育虐待も含める)に関する理解、カウンセリング技法6 小テスト 配点5点			14	【到達目標】 保護者の定期面談機会を考える。カウンセリング技法14 保護者対応をする際に理解しておくこと。 【授業内容】 1人当たり15分から20分程度の設定でどのように展開をするのか。 小テスト 配点5点		
7	【到達目標】 カウンセリングが必要となる背景にあること。 【授業内容】 緊急支援 自然災害・事故・家族の変化・引越し他 カウンセリング技法7			15	【到達目標】 カウンセリングの智恵と作法を総まとめする 【授業内容】 定期試験 配点 60点		
8	【到達目標】 カウンセリングを学ぶための機会を知る。カウンセリング技法8 【授業内容】 コンサルテーションとスーパービジョン 中間試験 配点15点			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト80点の50%＝40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 講師による事例の紹介、学生同士による事例の紹介については、守秘義務があること。							

科目名 (英)	保育原理 Nursery School Instruction Research	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	森 静子
		授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 金曜 2限
学科・コース	保育士科(昼間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 長年の保育所勤務を通し、現場と専門知識をつなぐ学びが重要と保育者養成に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目は、保育の本質や目的、制度や歴史、保育の現状について学ぶ基礎的な科目である。保育所保育指針をもとに、今の子どもや家庭の様子などをタイアップさせながら実践的に理解を深めていく。							
【到達目標】 ・保育に関する法令及び制度を理解し、保育の基礎・基本理念、意義および目的について理解することができる。 ・保育所保育指針における保育の基本について理解し、保育の在り方や保育者の役割について理解することができる。 ・保育の歴史の変遷や思想を学ぶとともに、保育の現状や課題について考えることができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「新基本保育シリーズ①保育原理」中央法規				【授業外における学習】 教科書の担当する章を予習し発表準備をする。自らの理解と疑問を意識するとともに、保育者としての指導力を高める。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 保育の理念と概念について考え、話し合い、理解することができる。 【授業内容】 オリエンテーション、保育の理念と概念			9	【到達目標】 1歳以上3歳未満児の保育における基本的事項、保育の実施にかかわる配慮を理解することができる。 【授業内容】 1歳以上3歳未満児の保育		
2	【到達目標】 保育所が果たす社会的な意義と役割、責任について理解することができる。 【授業内容】 保育の社会的役割と責任			10	【到達目標】 3歳以上児の保育の基礎を理解し幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)を保育の場面と繋げてイメージできる。 【授業内容】 3歳以上児の保育		
3	【到達目標】 子ども・子育て支援制度の概要と保育に関わる関係法令を理解することができる。 【授業内容】 子ども・子育て支援制度と保育にかかわる関係法令 施設型保育、地域型保育、地域・子ども子育て支援事業について			11	【到達目標】 保育における計画の重要性と種類、作成における観点について理解する。 【授業内容】 子ども理解に基づく保育の過程①理論編		
4	【到達目標】 支給認定の内容と利用できる保育施設について理解することができる。 【授業内容】 保育の実施体系			12	【到達目標】 保育実践記録の活用方法を保育の現場をイメージしながら理解できる。長期指導計画と短期指導計画作成の流れを理解できる。 【授業内容】 子ども理解に基づく保育の過程②実践編		
5	【到達目標】 保育所保育指針とは何か、内容と制度的位置づけを理解することができる。 【授業内容】 保育所保育指針に基づく保育			13	【到達目標】 諸外国と日本の保育の思想と歴史について関心を持ち、思想と実践を結びつけて理解できる。 【授業内容】 諸外国の保育の思想と歴史 日本の保育の思想と歴史		
6	【到達目標】 保育の目標と方法の内容を理解することができる。乳幼児期の「遊び」と小学校以降の「学び」の関連を考え、理解することができる。 【授業内容】 保育の目標と方法			14	【到達目標】 諸外国と日本の保育の現状と課題を理解し、課題のなかで自分ができることを見つける。 【授業内容】 諸外国の保育の現状と課題 日本の保育の現状と課題		
7	【到達目標】 乳児保育にかかわるねらいと内容を理解できる。子育てを支援する重要性について考え理解を深めることができる。 【授業内容】 乳児の保育			15	【到達目標】 これまでの授業を振り返り問題に答えることができる。 わからない問題を整理し自分の学習課題を見つけることができる。 【授業内容】 第9回～第14回の中間試験と解答解説		
8	【到達目標】 これまでの授業を振り返り問題に答えることができる。 わからない問題を整理し自分の学習課題を見つけることができる。 【授業内容】 第1回～第7回の中間試験と解答解説			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する ○成績評価 点数100～90＝A評価 点数 89～80＝B評価 点数 79～70＝C評価 点数 69～60＝D評価 点数 59点以下＝F 評価 ※出席が70％に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 毎回の授業で必要に応じて保育所保育指針ハンドブックを使用する。							

科目名 (英)	Sign Language 総合福祉技術（手話）	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	高須一美
学科・コース	保育士科(昼間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	15	開講区分 曜日・時間	前期 金曜 3限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) TV政見放送通訳・講演会・企業研修・学校・保育現場、病院等における手話通訳							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 聴覚障がいについての理解を深め、コミュニケーション方法の1つとしての手話の基礎を身に付け、幼稚園や保育園等、現場で役立つ表現を身に付けられるように授業を進めていく。実習の要素を多く取り入れ、学生自身が自分自身で「出来る」達成感を持てるようにしたい。生きた手話を身に付ける。							
【到達目標】 簡単な自己紹介ができるようになる。子どもたちに簡単な手話を教えたり、手話を使った歌を指導できるようになる。現場で聴覚障がいを持つ保護者に対して簡単なコミュニケーションがとれるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 手話テキストⅠ 資料はTeamsを参照して下さい。				【授業外における学習】 予習は特に必要ないが、復習し反復することにより身に付けてほしい。手を動かすことに慣れる。疑問があったらすぐに質問してほしい。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 「手話」について理解する。挨拶の手話を覚える。 【授業内容】 手話とはどんな言葉なのか理解する。実際に手を動かして、簡単な挨拶が表現できるようになる。			9	【到達目標】 疑問詞Ⅰ（何・どこ・どっち）の表現を覚える。 【授業内容】 疑問詞を学び、会話ができるようになる。問う、答えるのコミュニケーションの形を取って、学生同士で会話ができるようになる。		
2	【到達目標】 自分の苗字が表現できるようになる。相手に名前を尋ねられるようになる。 【授業内容】 学生一人ひとりが苗字の表現方法を覚える。友人の苗字の表現も理解する。			10	【到達目標】 疑問詞Ⅱ（いくつ・いくら・いつ・なぜ・どうやって）の表現を覚える。 【授業内容】 様々な疑問詞を使って、実際に短文が表現できるようになり、会話の楽しさを体験する。		
3	【到達目標】 指文字（50音）の表現ができるようになる。 【授業内容】 くあ〜ん>までの表現方法を学び、自分の名前を表現できるようになる。覚え方や指文字に関する手話も紹介する。			11	【到達目標】 現場を想定した会話ができるようになる。 【授業内容】 資料を使って、保育現場での会話を手話で表現できるようになる。		
4	【到達目標】 数字の表現方法を覚える。日時や金額、時刻の表現を身に付ける。 【授業内容】 <1〜万>の単位まで数字を表現する。誕生日や約束の時間や金額の表現ができるようになる。			12	【到達目標】 歌に手話を付けて「ひゅじょう豊かに歌えるようになる。（『さんぽ』『にじ』『はじめの一步』等）、 【授業内容】 保育園や幼稚園で楽しく歌いながら手話ができるようになる。歌詞の翻訳についても解説して、子どもの年齢に合わせた指導ができるよう		
5	【到達目標】 聴覚障がいについて理解する。障がいとはどのようなことか、他の障がいについても理解する。 【授業内容】 映像を視聴して、聴覚障がいについて理解を深める。状況によってはグループ討論する。			13	【到達目標】 歌または物語に手話を付ける。 【授業内容】 事前に学生の希望を取り、歌または物語に手話を付ける。		
6	【到達目標】 時制に関する表現を身に付ける。 【授業内容】 今日・明日・来週等の表現方法を身に付け、簡単な文章を手話で表現できるようにする。			14	【到達目標】 1回目から13回目までの総復習。 【授業内容】 できることを確認する。できないところは、わからないところはどこなのか把握する。今後の手話学習についての情報提供をする。		
7	【到達目標】 1回目から6回目までの復習。自分の不得意なところを克服する。 【授業内容】 良くわからなかったところを、もう一度学習して苦手意識をなくす。次の中間テストに備える。			15	【到達目標】 定期試験 【授業内容】 定期試験（手話の読み取り試験） 60点満点		
8	【到達目標】 中間試験 【授業内容】 中間試験（読み取り試験） 15点 表された手話の意味を既述する。			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価			
【特記事項】 全ての学生が、授業に積極的に参加できるような雰囲気を作っていく。遠慮することなく、わからないところやあいまいなところ、不明点はすぐに質問してほしい。							

科目名 (英)	英会話 English Conversation	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	海老原 孝一
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 金曜 2/3限
学科・コース	保育士科(昼間主・夜間主コース)						
【実務経験】 公立の小中学校で教育職員をした後、海外の日本人学校や幼稚園で18年間教育・運営に携わり、帰国後、2017年から東京福祉専門学校で保育科の学生を指導、2021年からは埼玉福祉保育医療専門学校の保育科並びに言語聴覚士科でも英語や文章表現等の授業を担当している。							
【授業の学習内容】 日常で使う英語表現を学びながら、保育士・幼稚園教諭が現場で必要とする英語・英会話に特化した学習を行う。具体的には、幼児教育で使われる英単語、英語の歌、英語のゲーム、おたよりの翻訳、保育現場で想定される英会話、英語の読み聞かせ・紙芝居、英語を用いた製作活動、英語劇などである。また校外に出て、動物園や水族館の引率や説明を英語で行ったりもする。							
【到達目標】 ・外国語学習を通して、異言語や異文化への抵抗意識が少なくなる。 ・日常会話および児童福祉分野に関する基礎的な英会話力を習得する。 ・外国語学習や活動を通して、異なったものを認め、それを受け入れる態度を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】 必要資料は授業時に教員が配付する。				【授業外における学習】 予習や復習、資料準備などを事前に連絡する。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 英語の子ども向けゲームや歌を楽しんで取り組むことができる。 【授業内容】 英語のゲームや歌に取り組む。			9	【到達目標】 英語の合唱曲を選び、工夫して合唱に取り組むことができる。 【授業内容】 話し合って合唱曲を選定し、合唱に取り組む。		
2	【到達目標】 英語のすごろくゲームを工夫して作り、楽しむことができる。 【授業内容】 英語のすごろくゲームを自作し、楽しむ。			10	【到達目標】 英語の合唱曲を選び、工夫して合唱に取り組むことができる。 【授業内容】 話し合って合唱曲を選定し、合唱に取り組む。		
3	【到達目標】 英語のすごろくゲームを工夫して作り、楽しむことができる。 【授業内容】 英語のすごろくゲームを自作し、楽しむ。			11	【到達目標】 英語の合唱曲を選び、工夫して合唱に取り組むことができる。 【授業内容】 話し合って合唱曲を選定し、合唱に取り組む。		
4	【到達目標】 英語のパネルシアターを作成し、実演できる。 【授業内容】 英語のパネルシアターを作成し、練習・発表する。			12	【到達目標】 クリスマス会の準備を協力して行うことができる。 【授業内容】 クリスマス会の計画・準備をしよう①		
5	【到達目標】 英語のパネルシアターを作成し、実演できる。 【授業内容】 英語のパネルシアターを作成し、練習・発表する。			13	【到達目標】 クリスマス会の準備を協力して行うことができる。 【授業内容】 クリスマス会の計画・準備をしよう②		
6	【到達目標】 英語のパネルシアターを作成し、実演できる。 【授業内容】 英語のパネルシアターを作成し、練習・発表する。			14	【到達目標】 クリスマス会に楽しく参加・活動できる。 【授業内容】 クリスマス会に参加・活動する。		
7	【到達目標】 英語のパネルシアターを作成し、実演できる。 【授業内容】 英語のパネルシアターを作成し、練習・発表する。			15	【到達目標】 授業1～授業14を振り返り、定期試験を受けることができる。 【授業内容】 【定期テスト】学習したことを振り返り、テストに臨む。		
8	【到達目標】 英語の歌を歌うことができる。 中間テスト(パネルシアター)に取り組むことができる。 【授業内容】 英語で歌ってみよう 【中間テスト】パネルシアター			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 受講者の状況に合わせて、内容や学習の順番を変更する場合があります。							

科目名 (英)	総合福祉技術(介護) Basic Nursing Care	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高橋 亜希子
		授業 形態	演技	総単位 時間	30時間	開講区分 曜日・時間	後 期 金曜 2/3 限
学科・コース	保育士科(夜間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 別養護老人ホーム「ディサービス」 リハビリ病院							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 介護の基礎を学び、介護技術を習得する。また、学んだ内容を実際の「演習」で確認し、身体機能や状態に合わせ、お互いの「安全、安楽、安心、自立、尊厳」を心掛けた介護技術の習得する授業を行う。							
【到達目標】 常に「利用者様」の立場に立って「支援」できるようになり、自ら進んで行動することができ、「介護支援」は、身体介護をするものではないことが理解できる。							
【使用教科書・教材・参考書】 動きやすい服装 室内履き 髪の毛・爪など介護支援に相応しい身だしなみを整えて出席すること。				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 お互いの自己紹介を行うことで、コミュニケーションを図る。 【授業内容】 オリエンテーション 授業の進め方と評価の方法についての説明を行う。介護のイメージを教えてください。			9	【到達目標】 ボディメカニクスを意識した「起き上がり」の介助を習得することができる。 【授業内容】 起き上がりの介助・・・常に声掛けを意識し、「臥床」⇒「座位」⇒「立位」の手順を習得する。		
2	【到達目標】 環境整備の意味を理解し、効率的なベッドメイキングとシーツ交換の手順を習得することができる。 【授業内容】 環境整備とベッドメイキング・・・ボディメカニクスをいかした介護技術を習得するために、シーツ交換の際の体の動かし方を意識する。			10	【到達目標】 ボディメカニクスを意識した「歩行」の介助を習得することができる 【授業内容】 移動と移乗の介助・・・ボディメカニクスを意識した「歩行」の介助を習得することができる		
3	【到達目標】 「声掛け」を意識することで、「安全、安心、安楽、自立、尊厳」を理解することができる。 【授業内容】 ベッド上に利用者様が臥床したままのシーツ交換・・・声掛けを意識して、いろいろな体位を覚えながらシーツの交換を行う。			11	【到達目標】 ボディメカニクスを意識した「移乗」の介助を習得することができる 【授業内容】 移動と移乗の介助①・・・ボディメカニクスを意識した「車いすへの移乗」の介助を習得することができる		
4	【到達目標】 「脱健着患」を理解することができる。 【授業内容】 衣類の着脱①・・・座ったままの状態での利用者様の「衣類の着脱」を行う。(上着のみ)			12	【到達目標】 声掛けを意識した介助を行うことで、より現場に適した技術を習得することができる。 【授業内容】 移動と移乗の介助 ②・・・ボディメカニクスを意識した「車いすへの移乗」の介助を習得することができる		
5	【到達目標】 声掛けを意識した「着脱」を行うことができる。 【授業内容】 衣類の着脱②・・・ベッドに寝たままの状態での利用者様の「衣類の着脱」を行う。			13	【到達目標】 声掛けを意識した介助を行うことで、より現場に適した技術を習得することができる。 【授業内容】 実際の「利用者」がいることを意識しながら「移乗の介助」を行う		
6	【到達目標】 色々な形状の衣類の「着脱方法」を習得することができる。 【授業内容】 衣類の着脱・・・③・・・座ったままの状態での利用者様の「衣類の着脱」を行う(上下) 被りの衣類			14	【到達目標】 学習内容を振り返ることで、自分に足りない技術を確認することができる。 【授業内容】 「期末テスト」へ向けての振り返り		
7	【到達目標】 学習内容を振り返ることで、自分に足りない技術を確認することができる。 【授業内容】 「中間テスト」へ向けての振り返り。			15	【到達目標】 【授業内容】 期末テスト		
8	【到達目標】 「中間テスト」を行うことで、前期の学習理解の状態を知る事ができる。 【授業内容】 「中間テスト」			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価			
【特記事項】							

科目名 (英)	国際教育 Oversea fieldwork	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	保育士科 学科職員
学科・コース	保育士科	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	集中授業
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 前年度まで国際教育の立案・計画・実践に関わってきた教員と海外における教育経験のある教員が学生の指導に当たる。外部講師は外国人並びに海外在住教職員							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 国外研修、または国内での研修(昨年は外国人講師・ドイツ在住教職員)を通して、他国の文化や考え方に触れることができるよう授業を展開していく。 豊かな国際感覚を身につけるとともに、保育・福祉の現場経験をもつ職員が、学びと実践がつながるように授業を展開していく。 多様性社会に福祉の分野から対応できる感覚を培い、視野を広げる教育活動を実践していく。							
【到達目標】 海外研修においては、福祉・保育の先進国の施設や、現地の子ども、学生との交流を通して、日本の福祉・保育の問題点を理解し国際感覚を身につける。 国内研修においては、海外の多様な価値観・考え方に触れ、国際感覚を豊かにし、多様な視点をもって福祉・保育を考えることができる力を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】 必要資料はその都度配付する。				【授業外における学習】 新聞やニュースなど、視野を広げ自ら情報を取得し、国際的感性を豊かにしてほしい。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 授業のスケジュール、目標、評価方法について理解する。 【授業内容】 オリエンテーション			9	【到達目標】 国際感覚を豊かにし、福祉・保育について幅広い視野をもつことができる。また、学びと実践のつながりを考えることができる。 【授業内容】 国際教育プログラム⑧		
2	【到達目標】 国際感覚を豊かにし、福祉・保育について幅広い視野をもつことができる。また、学びと実践のつながりを考えることができる。 【授業内容】 国際教育プログラム①			10	【到達目標】 国際感覚を豊かにし、福祉・保育について幅広い視野をもつことができる。また、学びと実践のつながりを考えることができる。 【授業内容】 国際教育プログラム⑨		
3	【到達目標】 国際感覚を豊かにし、福祉・保育について幅広い視野をもつことができる。また、学びと実践のつながりを考えることができる。 【授業内容】 国際教育プログラム②			11	【到達目標】 国際感覚を豊かにし、福祉・保育について幅広い視野をもつことができる。また、学びと実践のつながりを考えることができる。 【授業内容】 国際教育プログラム⑩		
4	【到達目標】 国際感覚を豊かにし、福祉・保育について幅広い視野をもつことができる。また、学びと実践のつながりを考えることができる。 【授業内容】 国際教育プログラム③			12	【到達目標】 国際感覚を豊かにし、福祉・保育について幅広い視野をもつことができる。また、学びと実践のつながりを考えることができる。 【授業内容】 国際教育プログラム⑪		
5	【到達目標】 国際感覚を豊かにし、福祉・保育について幅広い視野をもつことができる。また、学びと実践のつながりを考えることができる。 【授業内容】 国際教育プログラム④			13	【到達目標】 国際感覚を豊かにし、福祉・保育について幅広い視野をもつことができる。また、学びと実践のつながりを考えることができる。 【授業内容】 国際教育プログラム⑫		
6	【到達目標】 国際感覚を豊かにし、福祉・保育について幅広い視野をもつことができる。また、学びと実践のつながりを考えることができる。 【授業内容】 国際教育プログラム⑤			14	【到達目標】 国際感覚を豊かにし、福祉・保育について幅広い視野をもつことができる。また、学びと実践のつながりを考えることができる。 【授業内容】 国際教育プログラム⑬		
7	【到達目標】 国際感覚を豊かにし、福祉・保育について幅広い視野をもつことができる。また、学びと実践のつながりを考えることができる。 【授業内容】 国際教育プログラム⑥			15	【到達目標】 これまでの学びを総括し発表することができる。 【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 国際感覚を豊かにし、福祉・保育について幅広い視野をもつことができる。また、学びと実践のつながりを考えることができる。 【授業内容】 国際教育プログラム⑦			【評価について】 筆記および実践課題等を実施し合計100点満点で評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 集中授業であるのでスケジュールを自身でよく確認し授業に参加すること。 必要に応じオリエンテーションを実施する。							

科目名 (英)	保育実習Ⅰ(保育所) Nursery School PracticalⅠ	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	大山 華奈 上條友葉
	学科・コース 保育士科	授業 形態	実習	総単位 時間	80	開講区分 曜日・時間	後期 集中
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 幼稚園教諭として担任業務、実習生指導に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 保育現場にて実習生指導の経験を持つ講師が実習の準備・実施・振り返りをするために必要な知識や技術を身に付け、実りある実習になるための授業を行う。実習は子どもに直接接することの出来る機会であり、保育士の仕事を実際に体験できる貴重な機会でもある。保育の仕事の喜びを実習で実感するために、十分な準備を経て安心して実習し、効果のある振り返りを行って欲しい。							
【到達目標】 1. 保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。 2. 観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める。 3. 既習の教科目の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解する。 4. 保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解する。 5. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「学生・養成校・実習園がともに学ぶこれからの時代の保育者養成・実習ガイド」				【授業外における学習】 実習日誌にその日の記録を記載し、実習園の指定する提出期限を守り提出すること。			
授業概要							
<保育所実習の内容> 1. 保育所の役割と機能 (1) 保育所における子どもの生活と保育士の援助や関わり (2) 保育所保育指針に基づく保育の展開 2. 子どもの理解 (1) 子どもの観察とその記録による理解 (2) 子どもの発達過程の理解 (3) 子どもへの援助や関わり 3. 保育内容・保育環境 (1) 保育の計画に基づく保育内容 (2) 子どもの発達過程に応じた保育内容 (3) 子どもの生活や遊びと保育環境 (4) 子どもの健康と安全 4. 保育の計画・観察・記録 (1) 全体的な計画と指導計画及び評価の理解 (2) 記録に基づく省察・自己評価 5. 専門職としての保育士の役割と職業倫理 (1) 保育士の業務内容 (2) 職員間の役割分担や連携・協働 (3) 保育士の役割と職業倫理 <実習にあたって> ・実習日は実習先の定める期間で、10日間80時間以上を行うこと。 ・実習にあたって学校での指導をうけるとともに、実習先の指示に従いオリエンテーションをうけること。							
【特記事項】 健康に留意し実習に臨むこと。実習中、不測の事態があった際は自己判断になるのではなく、実習園や学校に報告・連絡・相談をすること。				【評価について】 学内での実習評価項目に基づき評価を行う。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			

科目名 (英)	保育実習指導 I Guidance for Institution Practical	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	大山 華奈 上條 友葉
学科・コース	保育士科	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 集中
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 幼稚園教諭として担任業務、実習生指導に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 保育現場にて実習生指導の経験を持つ講師が実習の準備・実施・振り返りをするために必要な知識や技術を身に付け、実りある実習になるための授業を行う。実習は子どもに直接接することの出来る機会であり、保育士の仕事を実際に体験できる貴重な機会でもある。保育の仕事の喜びを実習で実感するために、十分な準備を経て安心して実習し、効果のある振り返りを行って欲しい。							
【到達目標】 ①保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。②観察や子どもとのかかわりを通して子どもへの理解を深める。③既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に学ぶ。④保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する。⑤保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「学生・養成校・実習園がともに学ぶこれからの時代の保育者養成・実習ガイド」				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 実習全般について理解する事ができ、実習 I（保育所）についてイメージする事ができる。 【授業内容】 実習オリエンテーション 具体的な事例を基に、実習に向けて準備を始める			9	【到達目標】 実習に向けての思いをクラスメイトと共有し、実習に向かう気持ちや目的を高めることができる。 【授業内容】 グループワーク、決意表明		
2	【到達目標】 実習の目標を立てることができる。 【授業内容】 実習の目的・実習課題の検討			10	【到達目標】 実習を振り返り、10日間の学びを整理する。 【授業内容】 実習の自己評価・個人の振り返りワークシートの作成		
3	【到達目標】 実習における留意事項を理解し、気構え心構えができる。 実習日誌の取り扱いを理解し記載することができる。 【授業内容】 実習における留意事項、実習日誌の記載			11	【到達目標】 グループワークを通じて実習を振り返り、学びの共有を図る。 【授業内容】 実習の振り返りをグループワークで行い、課題や今後の努力目標について明確にする。		
4	【到達目標】 実習日誌について理解し、記入方法を獲得し模擬記入ができる。 【授業内容】 時系列の記入方法を理解する。エピソード記録について理解し、保育所保育指針を照らして保育を理解する視点を身につける。			12	【到達目標】 グループワークでの実習の振り返りまとめ、発表することができる。 【授業内容】 各グループの実習の振り返りについて共有する。		
5	【到達目標】 実習日誌について理解し、記入方法を獲得し模擬記入ができる。 【授業内容】 時系列の記入方法を理解する。エピソード記録について理解し、保育所保育指針を照らして保育を理解する視点を身につける。			13	【到達目標】 施設実習の意義・目的を理解し、分野理解を深めることができる。 【授業内容】 施設実習の意義・目的、施設調べ		
6	【到達目標】 社会人としてのマナーを理解し、実習の気構え身構え心構えができる。 【授業内容】 社会人マナー講習			14	【到達目標】 施設実習の意義・目的を理解し、分野理解を深めることができる。 【授業内容】 施設実習の意義・目的、施設調べ		
7	【到達目標】 社会人としてのマナーを理解し、実習の気構え身構え心構えができる。 【授業内容】 社会人マナー講習			15	【到達目標】 施設実習に向けての配慮事項を理解し、実習にあたっての課題や目標を考えることができる。 【授業内容】 施設実習における配慮事項、実習課題・目標		
8	【到達目標】 実習に向けての思いをクラスメイトと共有し、実習に向かう気持ちや目的を高めることができる。 【授業内容】 グループワーク、決意表明			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価（特別補講を実施）			
【特記事項】							